

参考情報 ファームウェアV4.3xx の設定画面について

ファームウェア V3.xxx から V4.3xx へバージョンアップした場合、設定画面の構成が大幅に変更されています。
設定項目の場所がわからない場合は、以下を参照して下さい。

設定項目名	場所
NetGenesis の LAN ポート IP アドレス、サブネットマスク ※1	メニューから「基本設定」をクリック。
NetGenesis の ニックネーム、タイムゾーン	
UPnP (ユニバーサルプラグアンドプレイ) 機能の設定 ※2	メニューの「WANポートの設定」から「動作モード設定」をクリックし、各動作モードを選択後、 [選択した動作モードの詳細設定へ] ボタンをクリック。
DHCP クライアント機能設定時のホスト名 (コンピュータ名)	
PPPoE クライアント機能設定時のユーザー ID、パスワード	
MTU の設定、セッションキーブアライブの設定等	
IP アドレス固定時の WAN 側ネットワークの設定	
複数 IP アドレス変換時の IP アドレス変換情報	
ネームサーバーの設定	
IP マスカレードセッション情報保持時間	
DMZ ホスト機能の設定	
Windows Messenger 変換の設定 ※2	
PPTP 変換の設定 ※3	
IPSec パススルー (IKE ポートの通信) の設定 ※2	
UPnP ニックネームの設定 ※2	
MAC アドレス変更機能の設定	
IP マスカレードテーブル設定	メニューの「WANポートの設定」から「IP マスカレードテーブル設定」をクリック。
DHCP サーバーの設定	メニューの「LANポートの設定」から「DHCP サーバー設定」をクリック。
SNTP サーバーの設定	メニューの「LANポートの設定」から「SNTP サーバー設定」をクリック。
SYSLOG の設定	メニューの「LANポートの設定」から「SYSLOG 設定」をクリック。
ファイアウォールの設定	メニューの「LANポートの設定」から「ファイアウォール設定」をクリック。
RIP の設定	メニューの「LANポートの設定」から「RIP 設定」をクリック。
EasyDNS の設定	メニューの「LANポートの設定」から「EasyDNS 設定」をクリック。
LANポートのスタティックルーティング設定	メニューの「その他の設定」から「スタティックルーティング設定」をクリック。
WANポートのスタティックルーティング設定	
PPPoE ポートのスタティックルーティング設定	
管理者用パスワード、ユーザー用パスワードの設定	メニューの「その他の設定」から「セキュリティ設定」をクリック。
NetGenesis の時刻を合わせる (パソコンの時刻情報を NetGenesis に設定)	メニューの「その他の設定」から「時刻設定」をクリック。
設定をファイルに保存する	メニューの「設定/バックアップ/初期化」から「設定をファイルに保存する」をクリック。
設定ファイルを読み込む	メニューの「設定/バックアップ/初期化」から「設定をファイルから読み込む」をクリック。
WANポートを工場出荷値に戻す	メニューの「設定/バックアップ/初期化」から「WANポートを工場出荷値に戻す」をクリック。
LANポートを工場出荷値に戻す	メニューの「設定/バックアップ/初期化」から「LANポートを工場出荷値に戻す」をクリック。
ファームウェアバージョンアップ	メニューの「バージョンアップ」から「ファームウェアバージョンアップ」をクリック。

※1:「サブネットマスク」は「サブネット(ビットマスク)」で設定します。

詳しくは設定画面の「サブネットについて」を参照して下さい。

※2: V4.3xx から追加された機能です。

※3: V4.3xx から PPTP 変換の有効/無効の任意設定が可能になりました。(工場出荷値 無効)

ファームウェア V3.xxx の NWG 統合ツールで行っていた制御も、V4.3xx では設定画面で行うことができます。

NWG 統合ツールでの名称	場所
WAN ポート情報	メニューの「制御/情報表示」から「WANポート情報」をクリック。
SYSLOG	メニューの「制御/情報表示」から「SYSLOG 表示」をクリック。
DMZ HOST	メニューの「制御/情報表示」から「DMZホスト制御」をクリック。

ブロードバンド IP ルータ
NetGenesis® OPT & OPT-R

クイックスタートガイド
～インターネット接続の設定について～

本書はブロードバンド IP ルータ NetGenesis OPT / OPT-R を
ファームウェア Ver4.3xx.xx (HTTPd 設定対応版)
へバージョンアップした場合の設定方法について解説しています。

また、本書はインターネットサービスプロバイダへ接続するための初歩的な設定と手順を中心に構成されています。

以下の設定が必要な方は、弊社ダウンロード & サポート情報ページからユーザーズマニュアルをダウンロードし、参照した後に設定を行ってください。(以下の内容は本書に記載されていません。)

- 複数のグローバル IP アドレスを使用する場合
(複数固定 IP アドレス変換機能 / アンナンバード機能)
- LAN 内の WWW サーバーや FTP サーバーを WAN 側へ公開する場合
- LAN 内のパソコンでネットワークゲームを行う場合 (ポートを空ける必要がある場合)
- NetGenesis の LAN ポート IP アドレス (192.168.0.1) を変更する場合
- 既存の LAN に NetGenesis を導入する場合
- NetGenesis の DHCP サーバーの設定を変更する、または停止する場合
- PPPoE 接続時のセッションキープアライブ機能の設定を変更する場合
- NetGenesis の以下の機能を使用する場合
 - ・ローカルルータ機能
 - ・ファイアウォール機能
 - ・RIP 機能
 - ・DMZ ホスト機能
 - ・MAC アドレス変更機能 (WAN ポート)
 - ・EasyDNS 機能
- Windows NT4.0 で使用する場合 (TCP/IP 設定方法)
- パソコンの IP アドレスを指定 (固定) する場合 (TCP/IP 設定方法)

ユーザーズマニュアルは以下からダウンロードして下さい。
http://www.mrl.co.jp/support/nwg/nwgopt_httpd.htm

※ファームウェア Ver3.xxx.xx (出荷バージョン / NWG 設定サーバーによる設定) をご利用の方は、製品に付属のマニュアルを参照して下さい。

はじめに

このたびはブロードバンドルータ「NetGenesis®OPT シリーズ」をご利用いただきまして誠にありがとうございます。

以下の製品名等は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft® Windows® 95 Operating System , Microsoft® Windows® 98 Operating System

Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System

Microsoft® Windows NT4.0® Operating System , Microsoft® Windows® 2000 Operating System

Microsoft® Windows® XP Operating System

Microsoft® Internet Explorer , Microsoft® Outlook Express , Microsoft® Windows Messenger , Microsoft® MSN Messenger

Macintosh, Mac OS はアップルコンピュータ社の登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

■本製品のご利用に当たって以下の項目をご了承下さい。

- (1) 本製品の故障、誤動作、不具合あるいは停電等の外的要因によって通信等の機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失、及び誤った設定を行ったために生じた純粋経済損失、通信内容の漏洩による純粋経済損失や精神的損害につきまして、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承下さい。
- (2) 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが万一不審な点、記載漏れ等お気付きの点がありましたら、当社ユーザーサポートまでご連絡下さい。
- (3) 運用した結果につきましては、上記項目に関わらず一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。
- (4) 本書の一部または全部を無断転載することを固くお断りします。
- (5) 本書の内容は、予告無しに変更することがあります。

■本書中のマークについて

本製品を安全に正しくご使用頂き、お客様や財産への損害を防ぐために、以下のマークの記されている内容を必ずお読み下さい。

 警告	本表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡あるいは重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	本表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示します。
 お願い	本表示を無視して誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮出来なかったり、機能停止を招く内容を示します。

■本書中の表記について

- 以下の文字は非常に間違いやすいので注意して下さい。
半角数字「1」（イチ）と半角アルファベット小文字「l」（エル）、半角アルファベット大文字「I」（アイ）
半角数字「0」（ゼロ）と半角アルファベット小文字「o」（オー）、半角アルファベット大文字「O」（オー）
- 本書では一部の語句について略語表記している箇所があります。

本書での表記	正式な呼称
ISP	インターネットサービスプロバイダ
PC	パソコン、コンピュータ、端末等
Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP	Microsoft® Windows® 95 Operating System Microsoft® Windows® 98 Operating System Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System Microsoft® Windows NT4.0® Operating System Microsoft® Windows® 2000 Operating System Microsoft® Windows® XP Operating System
Windows	上記 6 つのオペレーションシステムの総称
回線終端装置	ケーブルモデム /xDSL モデム /ONU/ メディアコンバータ等

- 以下のマークが付いている箇所は本製品をお使い頂く上で必ず確認または注意して頂きたい項目です。

 確認	ここに記載されている内容を必ず確認・注意して下さい。
-----------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------

安全にお使い頂くために

本製品を安全にお使い頂くために、以降の内容を必ずお読み下さい。

ご使用にあたって

 警告	<p>本製品は一般のオフィスや、家庭用OA機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム(幹線通信機器や電算機システム等)では、使用しないで下さい。</p>
	<p>本製品から発煙したり、異臭が発生した場合等、異常状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。その際は本製品のACアダプターをコンセントから外して、発煙しなくなる、もしくは異臭が消えたことを確認した後、当社ユーザーサポートへご連絡下さい。 お客様による修理は大変危険ですので、絶対にお止め下さい。</p>
	<p>濡れた手でACアダプターを抜き差ししないで下さい。 火災、感電、故障の原因となります。</p>
	<p>ACアダプターのプラグにドライバ等の金属が触れないようにして下さい。 火災、感電、故障の原因となります。</p>
	<p>AC100Vの家庭用・商用電源以外では使用しないで下さい。 火災、感電、故障の原因となります。</p>
	<p>ACアダプターは必ず添付のものを使用して下さい。 異なるACアダプターを使用すると、火災、感電、故障、動作不良の原因になります。</p>
	<p>ACアダプターのコードを傷つけたり、無理な力を加えたり、重いものを乗せないで下さい。 ACアダプターのコードが破損し、火災、感電、故障の原因となります。</p>
	<p>ACアダプターのプラグとコンセントの間の埃は定期的(約半年に1回程度)に取り除いて下さい。 そのまま放置すると火災の原因となります。</p>
	<p>ACアダプターを抜き差しするときは、必ずプラグを持って抜き差しを行って下さい。 ACアダプターのコードを無理に引っ張るとコードが破損し、火災、感電、故障の原因となります。</p>
	<p>下記のような事故が発生したら、ただちに本体電源をOFFにし、ACアダプターをコンセントから外した後、当社ユーザーサポートへご連絡下さい。 そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none">・本製品を落下させたり、強い衝撃を与えてしまった場合・本製品に水等の液体をかけてしまった場合・本製品の内部にクリップ等の金属片が入ってしまった場合
	<p>本製品やACアダプターを開けて内部の部品に触れたり、改造したりしないで下さい。 高電圧のかかっている箇所があり、火災、感電、故障の原因となります。 また、分解・改造が行われた製品については、一切のサポート及び修理をお断りさせていただきます。</p>
	<p>近くで雷が発生しているときは本製品のACアダプターをコンセントから外し本製品のWANポート、及びLANポートに接続されているケーブルを外してご使用を控えて下さい。 雷により火災、感電、故障が発生する恐れがあります。</p>
	<p>本製品に各種ケーブルを抜き差しする場合、必ず本製品および他の機器の電源をOFFにしてから行って下さい。電源を入れたままケーブルの抜き差しを行うと感電、故障の原因となります。</p>
 注意	<p>ACアダプターのコードを製品付属のケーブル以外で延長したり、テーブルタップや分岐コンセントを使用してたこ足配線をしないで下さい。火災、感電の原因となります。</p>
	<p>本製品の上に乗らないで下さい。 特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。 本製品が破損し、ケガや感電の原因となります。</p>
	<p>本製品背面の各コネクタに異物を挿入しないで下さい。 感電、故障の原因となります。</p>
 お願い	<p>本製品が動作しているときは、本製品に接続されているケーブルに触れないで下さい。 ケーブルが外れたり動作が不安定になる等、誤動作の原因となります。</p>

使用環境	
 警告	本製品の側に花瓶や植木鉢、コップ、化粧品、薬品や液体の入った容器、または小さな金属等を置かないで下さい。 これらの異物が本製品内部に混入した場合、火災、感電、故障の原因となります。
 注意	本製品を不安定な場所に設置したり、本製品の上にものを置かないで下さい。 バランスが崩れて倒れたり、落下してケガや本製品の故障の原因となります。
	本製品は屋内用として開発されております。屋外へ設置したり、屋外で使用しないで下さい。 雨や埃等により故障、破損の原因となります。
	本製品を調理台の近く等、油飛びや湯気のあたるような場所、およびゴミや埃の多い場所に設置しないで下さい。 火災、感電、故障の原因となります。
	本製品とACアダプターを直射日光のあたる場所や、ストーブ、ヒーターの側等、高温になりやすい場所および湿度の高い場所に設置しないで下さい。 火災、感電、故障の原因となります。
	本製品の動作中は本製品内部および外側が熱くなることがあります。 本製品の側にビニール等、熱により溶けやすいものを置かないで下さい。 また、本製品を他の機器と重ねて設置しないで下さい。 変色、変形の原因となります。
	本製品の通気孔をふさいだり重ねて設置しないで下さい。 本製品内部に熱がこもり過熱故障、火災の原因となります。
	本製品を温度差の激しいところや結露するような場所へ設置しないで下さい。 故障の原因となります。
	本製品を長期間ご使用にならないときはACアダプターをコンセントから外し、本製品に接続されている各種ケーブルを外して下さい。 本製品を長期間無人で使用する際は、必ず定期的に保守/点検を行って下さい。
 お願い	本製品は磁気を帯びている場所や磁場の発生している場所(テレビ、ラジオ、電子レンジ、携帯電話等の近く)に設置しないで下さい。 他の機器や本製品の動作に影響を及ぼすことがあります。

お手入れの際	
 警告	本製品の汚れを拭き取る際はベンジンやシンナー、アルコール等の薬品を使用しないで下さい。 人体に有害な気体が発生したり、本製品が変色したり変形する原因となります。 汚れを拭き取る際は、柔らかい布で軽く拭き取って下さい。
 注意	お手入れをするときは、本製品及びコンセントからACアダプターを取り外して電源OFFにし、安全な状態で行って下さい。

その他	
 注意	本製品は日本国内向けとして販売しております。 本製品を海外で使用された場合、当社は一切その責任を負いません。 (海外で使用された際のサポート、保守業務は行っておりません。)
	本製品は1つのIPアドレスで複数台のパソコンからインターネットへ接続することが可能です。 しかし、ISPによっては接続するパソコン台数ごとに追加契約が必要となる場合があります。 本製品をインターネットへ接続するために使用する場合、お客様の自己責任で行って下さい。 当社はお客様とISPとの契約条件等については一切関知致しません。
	本製品の仕様及び外観については、改良のため予告無く変更することがあります。

1. NetGenesis の特長について	1
2. ルータの設置	3
2-1. 設置前に確認すること	3
2-2. 各部の説明	6
2-3. 各機器との接続	7
2-4. インターネットへ接続するための設定手順について	8
3. パソコンの設定	13
3-1. Windows 95/98/Me (TCP/IP) の設定	13
3-2. Windows 2000 (TCP/IP) の設定	15
3-3. Windows XP (TCP/IP) の設定	17
3-4. Mac OS 7.6.1 ~ 9.2.2 (TCP/IP) の設定	19
3-5. Mac OS X (TCP/IP) の設定	20
3-6. ソフトウェアの設定	21
3-6-1. WWW ブラウザの設定	21
3-6-2. メールソフトウェアの設定 (Windows 環境のみ)	24
4. ルータの設定	25
4-1. 設定画面へのログオン	25
4-2. WAN ポートの設定	27
4-2-1. フレッツ (PPPoE) 簡単設定 (フレッツ・ADSL、B フレッツ等)	27
4-2-2. DHCP クライアント機能を使う (CATV、Yahoo!BB 等)	29
4-2-3. IP アドレスを固定する (CATV、IP アドレス指定の ISP 等)	31
4-3. 設定の更新	34
5. 付録	36
5-1. ファームウェアバージョン情報と MAC アドレスの確認方法	36
5-2. SYSLOG 機能の使用方法	37
5-2-1. SYSLOG の表示	37
5-2-2. SYSLOG 表示例	38
5-3. ISP から自動取得した IP アドレスの確認方法	39
5-4. UPnP(ユニバーサルプラグアンドプレイ) 機能の使用方法	40
5-4-1. NetGenesis の設定	40
5-4-2. Windows Me で UPnP 機能を使用する	41
5-4-3. Windows XP で UPnP 機能を使用する	44
5-5. 困ったときは (Q&A)	48
5-6. ユーザーサポートについて	54

1. NetGenesis の特長について

NetGenesis には次のような特長があります。

WANポートの機能	
●複数台のパソコンからインターネット接続が可能	IPアドレス変換機能により、LAN内に接続されている複数のパソコンから、同時にインターネットへ接続することが可能です。また、このIPアドレス変換機能により、NetGenesisのLAN内のIPアドレスへはWAN(インターネット)側から直接アクセスできなくなりますので、セキュリティ確保の面でも有効です。
●DHCPクライアント機能	DHCPクライアント機能により、ISPからグローバルIPアドレス等を自動取得することが可能です。(ISP側がDHCPサーバーによって、IPアドレス等を付与している場合のみ。)
●PPPoE(PPP over Ethernet)クライアント機能	PPPoEクライアント機能により、PPPoE接続を必要とする「フレッツ・ADSL」や「Bフレッツ」等へ接続することが可能です。また、PPPoE接続する際に必要なソフトウェア(「フレッツ接続ツール」等)を、LAN内の各パソコンへインストールする必要があります。
●複数固定IPアドレス変換(NAT/IPマスカレード)機能 ※	ISPから取得した、複数の固定IPアドレスをNAT/IPマスカレード変換することにより、固定IPアドレスの個数以上のパソコンから、インターネットへ接続することが可能です。
●アンナンバード(unnumbered)機能 ※	WAN側をアンナンバード(unnumbered)として、ISPから取得した複数の固定グローバルIPアドレスを、LAN内で使用することが可能です。
●MACアドレス変更機能 ※	NetGenesisのWANポート側のMACアドレス(物理アドレス)を変更することが可能です。この機能により、MACアドレスの登録を必要とするCATV局や、MACアドレス記憶型のケーブルモデムに柔軟に対応することが可能です。
●MTU値変更機能 ※	PPPoEクライアント接続機能使用時に、MTU値(1回の送信で送ることのできる最大データサイズ)を変更することが可能です。
●ローカルルータ機能 ※	IPアドレス変換機能をOFFにすることにより、ローカルルータとして使用することが可能です。(2つの異なるネットワークを接続するルータとして使用することが可能です。)
●Windows Messenger変換機能 ※	Windows XPに搭載されているWindows Messengerの「音声/ビデオチャット」機能、「ファイル転送」機能、「電話をかける」機能を使用することが可能です。(UPnP(ユニバーサルプラグアンドプレイ)機能との併用はできません。)
●PPTP変換機能/IPSecパススルー機能 ※	ルータを介したVPNネットワークを構築することが可能です。(別途VPNサーバー/クライアントが必要です。)
LANポートの機能(1)	
●UPnP(ユニバーサルプラグアンドプレイ)機能	Windows XPに搭載されているWindows Messenger等のUPnP対応ソフトウェアや、NTTのIP電話用VoIPアダプタ等、UPnP対応機器を使用することが可能です。(Windows Messenger変換機能との併用はできません。)
●DHCPサーバー機能 ※	NetGenesisに接続されている各パソコン等へ自動的にネットワークの設定を行います。各パソコンに必要な複雑で間違えやすいTCP/IP設定を、NetGenesisから自動取得することが可能です。(WindowsやMac OS等、DHCPクライアント機能を搭載したオペレーティングシステムが必要です。)
●SNTPクライアント/サーバー機能 ※	インターネット(またはLAN)上のSNTP/NTPサーバーを利用しNetGenesisの時刻を調整します。また、NetGenesisがSNTPサーバーとして機能することにより、SNTPクライアント(パソコン等)に、時刻情報を与えることも可能です。
●ファイアウォール(IPフィルタ)機能 ※	IPパケットのフィルタリングにより、LAN内部のコンピュータ資源を保護します。
●RIP機能 ※	RIP対応機器と経路情報を送受信することにより、通信経路に障害が発生しても、動的に通信経路を変更することが可能です。

LANポートの機能(2)

●SYSLOG機能 ※

システムで発生した情報等を、システムのメッセージとしてNetGenesisに接続したパソコンに表示/記録することが可能です。

●ProxyDNS機能

NetGenesisがDNSサーバーの代理応答を行います。

パソコンのTCP/IP設定で、DNSサーバーIPアドレスとしてNetGenesisのLANポートIPアドレスを設定することにより、ISP側のDNSサーバーIPアドレスが変更された場合でも、NetGenesisの設定変更のみで対応可能となります。(パソコンのDNSサーバーの設定を変更する必要がありません。)

また、この機能を使用することにより、NetGenesisのEasyDNS機能を使用することが可能となります。

●EasyDNS機能 ※

頻繁に使用するホスト名とIPアドレスをNetGenesisに登録することにより、NetGenesisを簡易DNSサーバーとして使用することが可能です。

(ProxyDNS機能を使用しない場合は、本機能は使用できません。)

サーバー公開やネットワークゲームに対応するための機能

●静的IPマスカレード機能(IPマスカレードテーブル) ※

インターネット側から発信されたIPフレームを、プロトコルやポート番号に応じてLAN内の特定のIPアドレスへ転送することが可能です。

●DMZホスト機能 ※

インターネット側から発信された全てのIPフレームを、LAN内の特定のIPアドレスへ転送することが可能です。

ハードウェアの機能

●WAN側 10/100Mbps 自動認識対応(1ポート)

10/100Mbps自動認識(RJ-45)のWAN側接続用ポートを搭載していますので、CATVインターネットやxDSLインターネットはもちろん、光ファイバーインターネットのような超高速インターネット環境にも対応することが可能です。

●LAN側 10/100Mbps 自動認識 スイッチングHUB(4ポート)

10/100Mbps自動認識のスイッチングHUB(RJ-45)を搭載していますので、10BASE-T(10Mbps)と100BASE-TX(100Mbps)や全二重と半二重のように、異なる速度を混在して使用することが可能です。

●フラッシュROM搭載

専用の機器を使用しなくても消去/書込みが可能なフラッシュROMを搭載しています。

ファームウェア(NetGenesisのコントロールを行う内部プログラム)をフラッシュROMへ置くことにより、ファームウェアのバージョンアップが必要となった際に、容易にバージョンアップを行うことが可能です。

その他の機能

●パスワード機能(管理者IDとユーザーID) ※

管理者ID、ユーザーIDとそれぞれのパスワードを設定することにより、NetGenesisの設定情報を保護することが可能です。

●WWWブラウザ設定対応

WWWブラウザを使用してNetGenesisの設定を行うことが可能です。

確認

※印が記載されている機能については、本書では解説していません。

これらの設定が必要な場合は、弊社ダウンロード&サポート情報ページからユーザーズマニュアルをダウンロードし、参照して設定を行って下さい。

2. ルータの設置

2-1. 設置前に確認すること

設置前に以下の項目を確認して下さい。

●回線接続(開通)の確認

NetGenesisと接続する前に、回線終端装置をパソコンに直接接続して、インターネットへ接続できることを確認して下さい。
(NetGenesisを使用しない状態で、インターネットへ接続できることを確認して下さい。)

接続できない場合は、回線接続業者等にご相談下さい。

●PPPoEソフトウェアについての注意

パソコンに「PPPoEソフトウェア」(フレッツ接続ツール等)をインストールしている場合、NetGenesisの設定を行う前に必ずアンインストールして下さい。

確認

アンインストールを行う前に、必ず回線の切断を行って下さい。

アンインストール方法等については、「PPPoEソフトウェア」のマニュアルやヘルプ等を参照して下さい。

●NetGenesisに複数台のパソコンを接続する場合

NetGenesisに複数台のパソコンを接続する場合は、最初に1台のパソコンのみを接続し、すべての設定が完了してインターネットへ接続できることを確認してから、他のパソコンを接続して下さい。

●ルータタイプのADSLモデム使用時の注意

プロバイダから提供されたADSLモデムにルータ機能が搭載されている場合(以降、ADSLモデムルータと呼びます)ADSLモデムルータの設定によっては、NetGenesisのLANポートIPアドレスの変更が必要になります。

■ADSLモデムルータをブリッジモードで動作させる場合

NetGenesisのLANポートIPアドレスを変更する必要はありません。

ブリッジモードで動作させる方法等は、ADSLモデムルータのマニュアル等を参照して下さい。

■ADSLモデムルータをルータモードで動作させる場合

ADSLモデムルータのLAN側プライベートネットワークアドレスを確認して下さい。

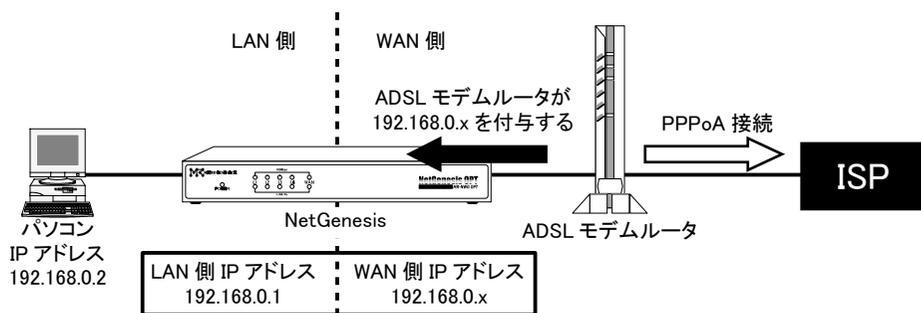
(確認方法についてはADSLモデムルータのマニュアル等を参照して下さい。)

- ◆ADSLモデムルータのLAN側プライベートネットワークアドレスが 192.168.0.x (x = 1~254) 以外の場合

→NetGenesisのLANポートIPアドレスの変更は必要ありません。

- ◆ADSLモデムルータのLAN側プライベートネットワークアドレスが 192.168.0.x (x = 1~254) の場合

→NetGenesisのLANポートIPアドレス(工場出荷値: 192.168.0.1)とWANポート(DHCPクライアント機能)が自動取得するIPアドレスが同一ネットワークになってしまうため、インターネットへ接続することができません。



NetGenesisのWAN側とLAN側のIPアドレスがともに「192.168.0.x」(同一ネットワーク)のため、LAN側のパソコンからインターネット接続できない。

使用する環境が上記に該当する場合は、弊社ダウンロード&サポート情報ページからユーザーズマニュアルをダウンロードし、参照して以下の設定を行って下さい。

- NetGenesisのLANポートIPアドレスを192.168.0.x以外(192.168.100.1等)に変更する。
- 変更したNetGenesisのLANポートIPアドレスに合わせて、NetGenesisのDHCPサーバー機能の設定を変更する。

● MACアドレス記憶型のケーブルモデムについて

ケーブルモデムの中には、接続されているネットワーク機器のMACアドレス(物理アドレス)を記憶する機種があります。MACアドレス記憶型のケーブルモデムを使用している場合、NetGenesisを導入する前に使用していたイーサネットボード(パソコン側)のMACアドレスを記憶しているため、NetGenesisを接続しても正常に通信を行うことができません。その場合は、ケーブルモデムの電源をOFFにし、30分程度放置した後、再度電源をONにしてケーブルモデムが記憶しているMACアドレスを消去して下さい。

確認

ケーブルモデムが記憶しているMACアドレスが消去されるまでの時間は、ケーブルモデムの機種により異なります。

MACアドレス記憶型のケーブルモデムには、NetGenesisのMACアドレス変更機能を使用することによって対処することも可能です。WANポートMACアドレスの変更方法については、弊社ダウンロード&サポート情報ページからユーザーズマニュアルをダウンロードし、参照して下さい。

● IPアドレスの解放について(一部のCATVやYahoo!BB等)

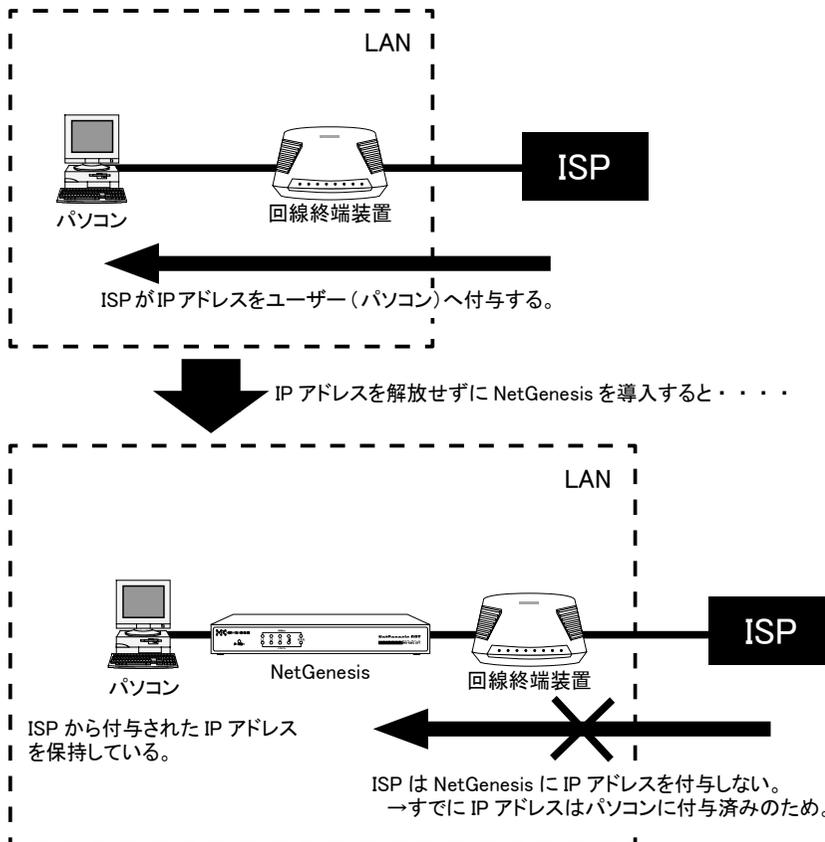
ISPからIPアドレスを自動取得してインターネットへ接続している場合、NetGenesisを導入する前に回線終端装置と接続しているパソコン(もしくはルータ)のIPアドレスを解放する(ISPへ返す)必要があります。

確認

ただし、以下のどちらかに該当する場合、IPアドレスの解放をする必要はありません。

- ・回線終端装置と直結したパソコンにISPから付与されたIPアドレスを設定(固定)していた場合
- ・フレッツ・ADSLやBフレッツ等、PPPoE接続を行う場合

IPアドレスを自動付与するISPでは「1ユーザー=1つのIPアドレス」となるため、パソコンがISPからIPアドレスを取得したままの状態では、NetGenesisのWANポートがIPアドレスを自動取得することはできません。



WindowsでパソコンのIPアドレスを解放する方法について次ページを参照して下さい。

確認

IPアドレスの解放は、必ずNetGenesisとパソコンを接続する前に行って下さい。

Mac OSの場合、パソコン側からIPアドレスを解放することができないため、ISP側のリース期限(IPアドレスの付与時間)が満了となるまで、ISPから取得したIPアドレスは解放されません。

パソコンの電源をOFFにして、しばらく時間をおいてからNetGenesisとパソコンを接続して下さい。

● Windows 95/98/Me で IP アドレスを解放する

以下の手順で IP アドレスの解放を行って下さい。

- ① [スタート] → [ファイル名を指定して実行] と順番にクリックして下さい。
- ② [名前] 欄に、「winipcfg」と入力して [OK] ボタンをクリックして下さい。
- ③ 以下の画面が表示されます。
[IP アドレス] 欄に値が表示されていることを確認し、[解放] ボタンをクリックして下さい。



- ④ [IP アドレス] 欄が、「0.0.0.0」に変わったことを確認して下さい。



- ⑤ [OK] ボタンをクリックし、「IP 設定」画面を閉じて下さい。

以上で IP アドレスの解放は完了です。

● Windows 2000/XP で IP アドレスを解放する方法

以下の手順で IP アドレスの解放を行って下さい。

- ① [スタート] → [プログラム] ※ → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] と順番にクリックして下さい。
※ Windows XP の場合 [すべてのプログラム] と表示されます。
 - ② 「コマンドプロンプト」画面が表示されます。
 - ③ 「ipconfig」と入力して「Enter」キーを押して下さい。
「IP Address」欄に値が表示されていることを確認して下さい。
 - ④ 「ipconfig /release」を入力して「Enter」キーを押して下さい。
※ 「ipconfig」と「/release」の間に半角スペースを入れて下さい。
「IP address successfully released.....」と表示されたことを確認して下さい。
 - ⑤ 再度「ipconfig」を入力して「Enter」キーを押して下さい。
 - ⑥ [IP Address] 欄が「0.0.0.0」になったことを確認して、「コマンドプロンプト」画面は [×] ボタンをクリックする等して閉じて下さい。
- 以上で IP アドレスの解放は完了です。

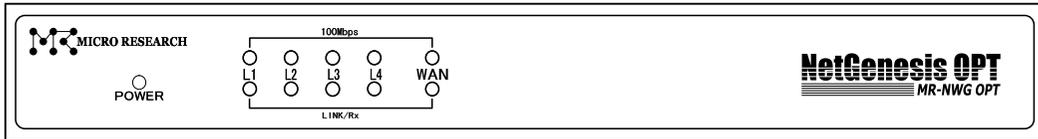
2-2. 各部の説明

本体各部の説明をします。

確認

下記挿絵は NetGenesis OPT ですが、NetGenesis OPT-R との外見の違いは、本体色とロゴのみです。

● 正面 (モニタランプ)



POWER : NetGenesis の電源が ON のときに点灯します。

確認

電源投入時は、NetGenesis の起動が完了するまで POWER ランプが約 1 分間点滅します。POWER ランプが点灯状態になると、起動完了です。

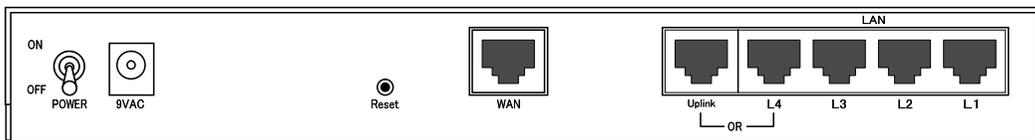
LINK/Rx : 各ポートの状態を表します。

点灯 = リンク確立中
点滅 = データ通信中
消灯 = リンク未確立

100Mbps : 各ポートの通信速度を表します。

点灯 = 100Mbps
消灯 = 10Mbps

● 背面 (コネクタ)



L1 ~ L4 : LAN ポート 1 ~ 4 です。ツイストペアケーブルを使用して、パソコンのイーサネットボード等に接続します。(#1)

Uplink : L4 ポートのアップリンクポートです。ツイストペアケーブルを使用して、他の HUB 等に接続します。(#1)

確認

Uplink ポートと L4 ポート (LAN ポート 4) の同時使用はできません。どちらか片方のみが使用可能です。

WAN : WAN ポートです。ツイストペアケーブルを使用して、回線終端装置と接続します。(#1)
※ USB タイプの回線終端装置は接続できません。

Reset : NetGenesis の設定内容を工場出荷値に戻すためのボタンです。(#2)

9VAC : AC アダプター用コネクタです。付属の AC アダプターを接続します。

POWER : NetGenesis の電源を ON/OFF するスイッチです。

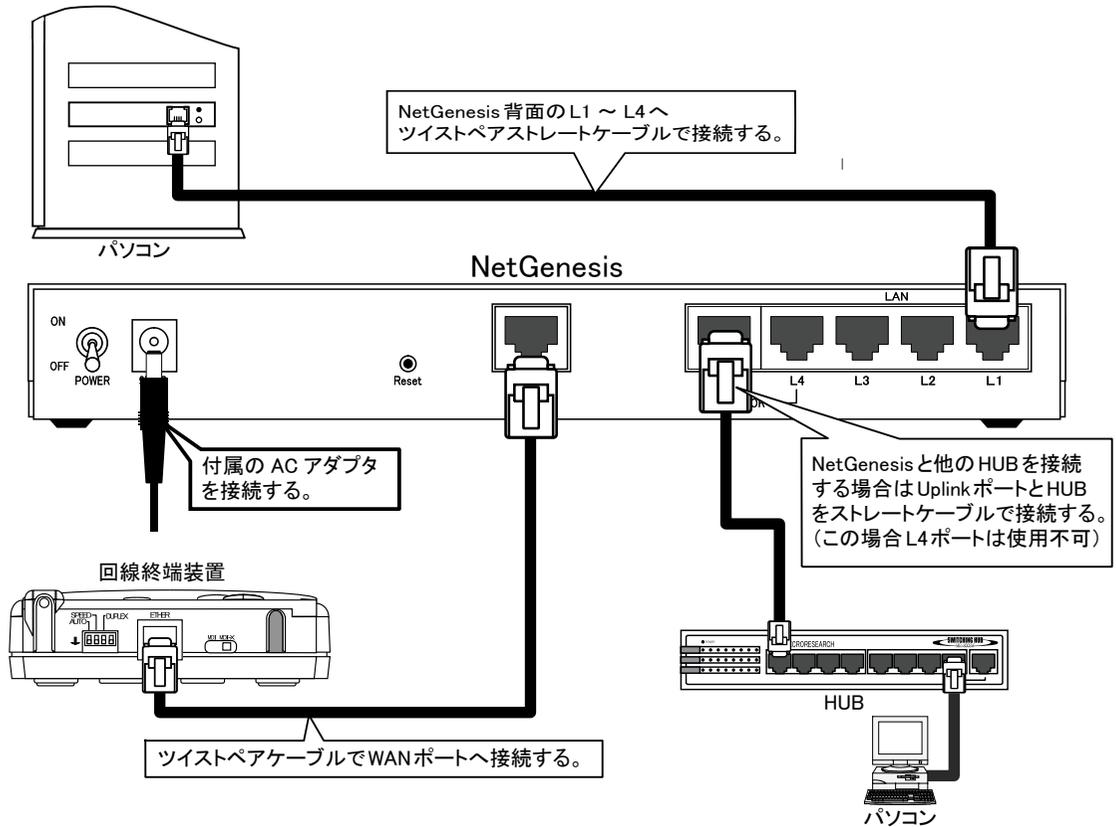
《 #1 ~ #2 について 》

(#1) : 通信速度 (10/100Mbps) はオートネゴシエーションによって自動的に設定されます。

(#2) : 細い棒等を使って RESET ボタンを押しながら、電源を OFF → ON することにより、工場出荷値に戻ります。
(RESET ボタンは電源 ON 後、10 秒以上押し続けて下さい。)

2-3. 各機器との接続

NetGenesis と各機器の接続について説明します。
以下の接続にしたがって、各機器を接続して下さい。



各機器との接続が完了しましたら NetGenesis の電源を ON にした後、パソコンの電源を ON にして下さい。

確認	NetGenesis に USB タイプの回線終端装置を接続することはできません。
	NetGenesis の WAN ポートは MDI 固定です。
	回線終端装置と WAN ポートを接続するツイストペアケーブルは回線終端装置側に合わせて用意して下さい。
	回線終端装置側が MDI の場合はクロスケーブル、MDI-X の場合はストレートケーブルを使用して下さい。
	回線終端装置に 10/100Mbps の切り替えスイッチが付いている場合、Auto モード (オートネゴシエーション有効) に設定して下さい。 詳しくは回線終端装置のマニュアルを参照して下さい。
LAN 内に複数の NetGenesis を設置する場合は、弊社ダウンロード & サポート情報ページからユーザーズマニュアルをダウンロードし、参照して設定を行って下さい。 (NetGenesis の LAN ポート IP アドレスや DHCP サーバーの設定変更が必要です。)	
NetGenesis に複数台のパソコンを接続する場合は、最初に 1 台のパソコンのみを接続し、すべての設定が完了してインターネットへ接続できることを確認してから、他のパソコンを接続して下さい。	

2-4. インターネットへ接続するための設定手順について

本書で説明する設定では、NetGenesis の DHCP サーバー機能を使用します。
この機能により、複数のパソコンを設定する場合等の手間や設定ミスを大幅に減らすことができます。

◆ DHCP サーバーの工場出荷値の設定について

NetGenesis の DHCP サーバー設定は工場出荷時、以下のようになっています。

DHCPサーバー機能を使用する	
先頭IPアドレス/サブネット	192.168.0.2/24 サブネットについて
付与IPアドレス数	253 (最大253個)
ゲートウェイ	192.168.0.1
<input type="checkbox"/> WAN側から取得したDNS情報を優先する	
プライマリDNS	192.168.0.1
セカンダリDNS	
サードDNS	
フォースDNS	
<input checked="" type="checkbox"/> WAN側から取得したドメイン名を優先する	
ドメイン名	
<input checked="" type="checkbox"/> WAN側から取得したリース期限を優先する	
リース期限(時間:分:秒)	24:00:00
※「00:15:00」(15分)以下の時間は設定できません。	

- ① DHCP サーバー機能を使用する
→チェック有り。(使用する。)
- ② 先頭IPアドレス/サブネット
→「192.168.0.2」から「192.168.0.3」、「192.168.0.4」・・・と順番に付与します。
サブネットマスクは「255.255.255.0」を付与します。
- ③ 付与IPアドレス数
→「192.168.0.2」から順番に253個のIPアドレスを付与します。
- ④ WAN側から取得したDNS情報を優先する
→チェック無し。(無効。)
WAN側(ISP)から自動取得したDNS情報をパソコン側へ付与しません。
パソコン側にはNetGenesisのLANポートIPアドレス「192.168.0.1」をDNSサーバーとして付与することにより、NetGenesisがDNSサーバーの代理応答(ProxyDNS)を行います。
- ⑤ プライマリ～フォースDNS
→プライマリDNSとしてNetGenesisのLANポートIPアドレス「192.168.0.1」を付与します。
セカンダリ～フォースDNSは付与しません。
- ⑥ WAN側から取得したドメイン名を優先する
→チェック有り。(優先する。)
WAN側(ISP)から自動取得したドメイン名をパソコン側へ付与します。
ただし、PPPoE接続の場合、ドメイン名を自動取得しませんのでパソコン側へ付与しません。
- ⑦ ドメイン名
→空欄。(指定無し。)
- ⑧ WAN側から取得したリース期限を優先する
→チェック有り。(優先する。)
WAN側(ISP)から自動取得したリース期限をパソコン側へ付与します。
ただし、PPPoE接続の場合、リース期限を自動取得しませんのでパソコン側へ付与しません。
- ⑨ リース期限
→24時間。

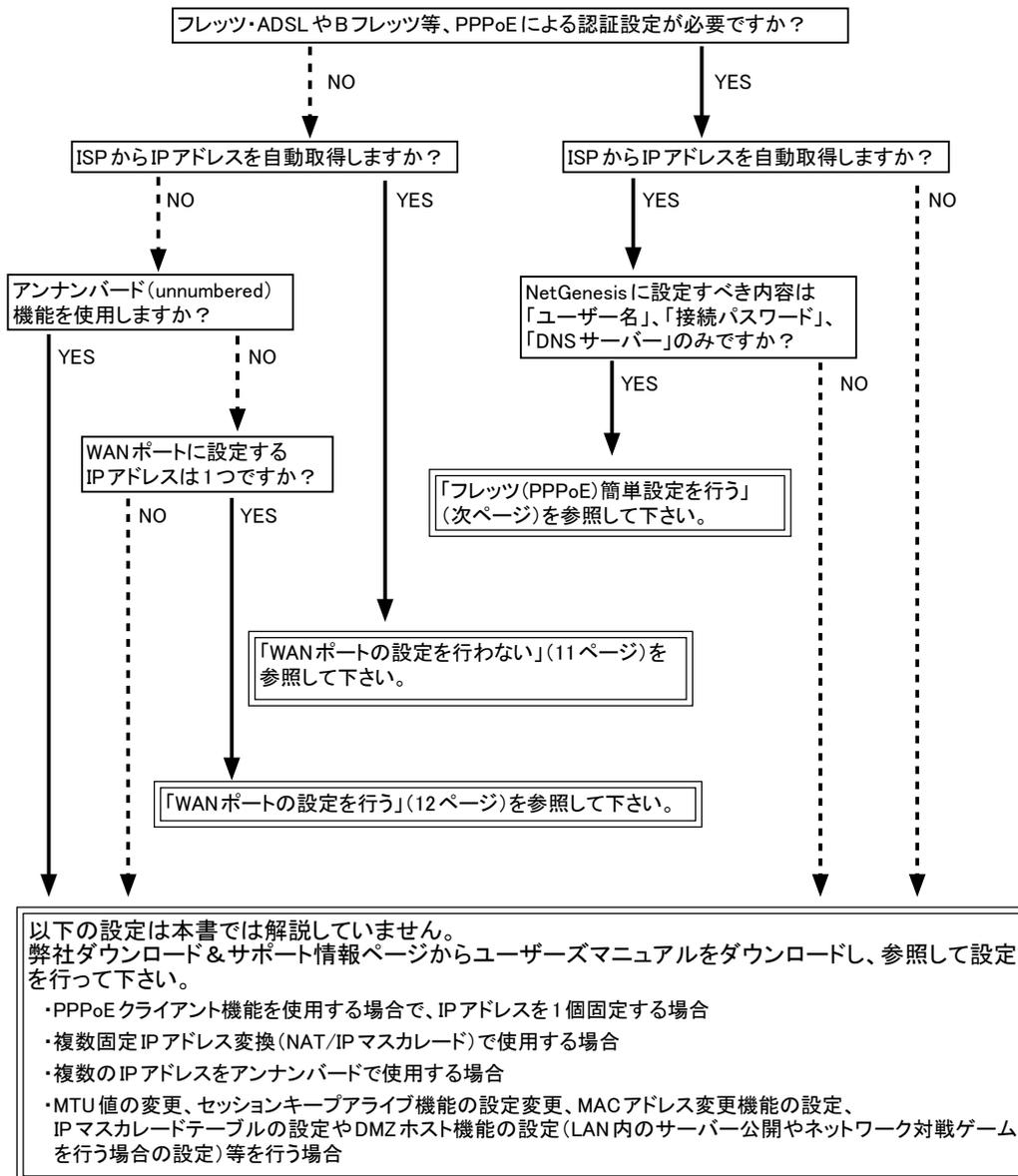
確認

NetGenesisのDHCPサーバーの設定値を変更する場合や、DHCPサーバー機能を使用しない場合は、弊社ダウンロード&サポート情報ページからユーザーズマニュアルをダウンロードし、参照して設定を行って下さい。

<次ページへ進んで下さい>

◆ NetGenesis の設定方法について

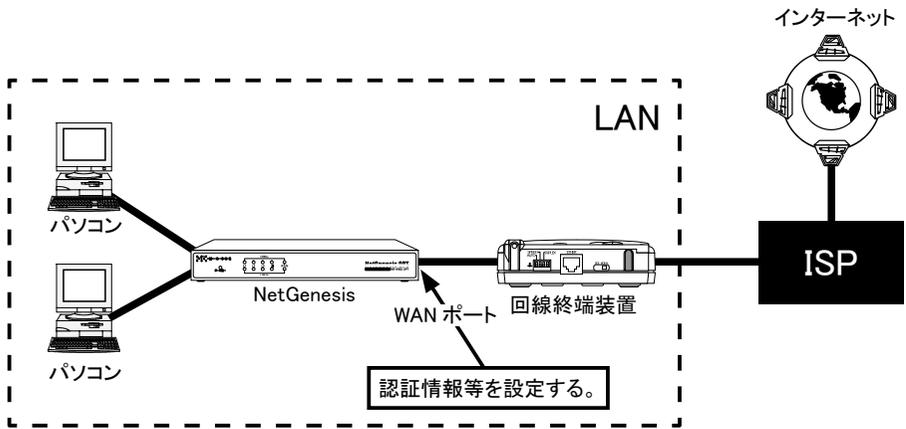
NetGenesis を使用するにあたっての設定手順については、以下のフローチャート図を参照して下さい。



◆フレッツ(PPPoE)簡単設定を行う(フレッツ・ADSL やBフレッツ等)

フレッツ・ADSL やBフレッツ等 PPPoE クライアント機能を使用してインターネットへ接続する場合、「フレッツ(PPPoE)簡単設定」を行うことにより、必要最低限の設定を行うだけで、インターネットへ接続することができます。

確認 本設定では、「ユーザー名」、「パスワード」、「DNSサーバー」の設定のみ行います。
 PPPoEクライアント機能のより詳細な設定が必要な場合は、弊社ダウンロード&サポート情報ページからユーザーズマニュアルをダウンロードし、参照して設定を行って下さい。



●設定完了までの流れ

TCP/IP プロトコルの設定を行う	
Windows 95/98/Me	→ 13 ページ
Windows 2000	→ 15 ページ
Windows XP	→ 17 ページ
MacOS7.6.1 ~ 9.2.2	→ 19 ページ
MacOS X	→ 20 ページ

↓

ソフトウェアの設定を行う	21 ページ
--------------	--------

↓

設定画面へログインする	25 ページ
-------------	--------

↓

フレッツ PPPoE 簡単設定を行う	27 ページ
--------------------	--------

↓

設定更新を行う	34 ページ
---------	--------

↓

設定完了	
------	--

◆ WANポートの設定を行わない(IPアドレス自動取得のCATVやYahoo!BB等)

IPアドレス等の情報をISPから自動取得できる場合の設定手順について説明します。

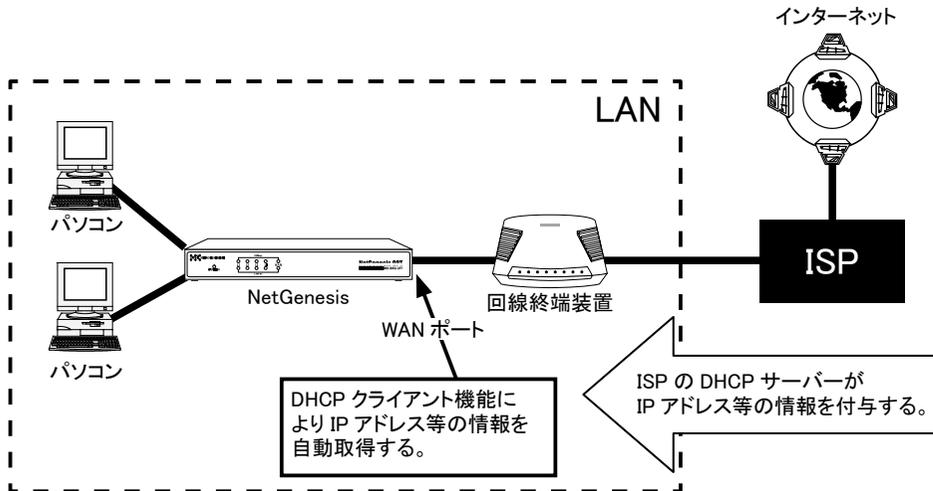
NetGenesisのWANポート設定は、工場出荷時「DHCPクライアント機能を使用する」状態になっています。

契約しているISPが、DHCPサーバーによってIPアドレス等を付与している場合、工場出荷値のままでインターネットへ接続することができます。

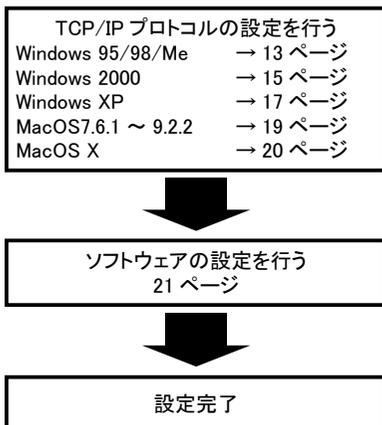
確認

ただし、以下に該当する場合は、「WANポートの設定を行う」(次ページ)と同じ手順で設定を行って下さい。

- ・ISPから指定された、ホスト名やコンピュータ名等の設定が必要な場合。
- ・ISPからDNSサーバー(ネームサーバー)情報を自動取得できない場合。

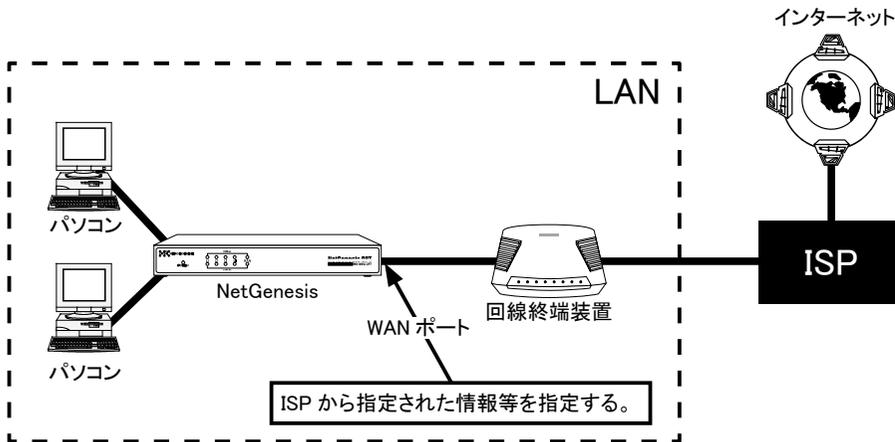


● 設定完了までの流れ

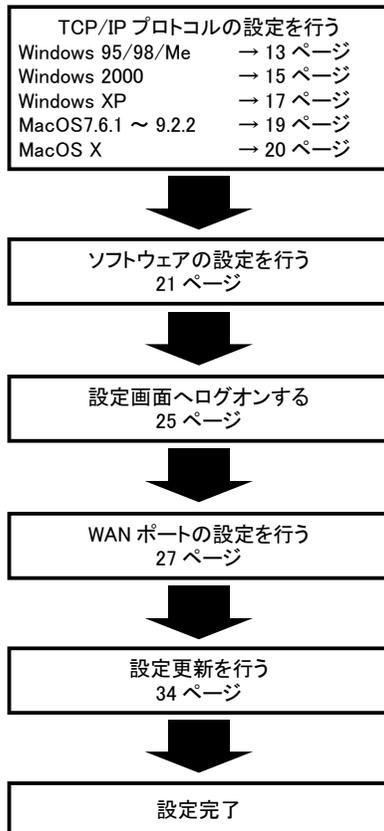


◆ WANポートの設定を行う(IPアドレス指定のCATVやISP等)

ISPから指定されたIPアドレスを設定する場合や、ISPからホスト名(コンピューター名)を指定されている場合の設定手順について説明します。



● 設定完了までの流れ



3. パソコンの設定

NetGenesis に接続するパソコンの設定について説明します。
設定手順は OS の種類により異なります。
以下を参照して下さい。

確認	パソコンに PPPoE ソフトウェア (フレッツ接続ツール等) がインストールされている場合、必ずアンインストールして下さい。 アンインストール方法については、PPPoE ソフトウェアのマニュアルやヘルプ等を参照して下さい。 Windows NT4.0 の設定、およびパソコンの IP アドレスを指定 (固定) する場合は、弊社ダウンロード & サポート情報ページから ユーザーズマニュアルをダウンロードし、参照して設定を行って下さい。
-----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- **Windows 95/98/Me を接続する場合**
→「3-1. Windows 95/98/Me (TCP/IP) の設定」(次項) を参照して下さい。
- **Windows 2000 を接続する場合**
→「3-2. Windows 2000 (TCP/IP) の設定」(15 ページ) を参照して下さい。
- **Windows XP を接続する場合**
→「3-3. Windows XP (TCP/IP) の設定」(17 ページ) を参照して下さい。
- **Mac OS 7.6.1 ~ 9.2.2 を接続する場合**
→「3-4. Mac OS 7.6.1 ~ 9.2.2 (TCP/IP) の設定」(19 ページ) を参照して下さい。
- **Mac OS X を接続する場合**
→「3-5. Mac OS X (TCP/IP) の設定」(20 ページ) を参照して下さい。
- **ソフトウェアの設定**
→「3-6. ソフトウェアの設定」(21 ページ) を参照して下さい。

3-1. Windows 95/98/Me (TCP/IP) の設定

Windows 95/98/Me を接続する場合の TCP/IP プロトコルの設定について説明します。

確認	NetGenesis へ接続する全てのパソコンにあらかじめイーサネットボードをセットアップしておいて下さい。 イーサネットボードのセットアップ方法については、イーサネットボードのマニュアル等を参照して下さい。
-----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

以下の手順で TCP/IP プロトコルを設定して下さい。

- ① [マイコンピュータ] をダブルクリックし、[コントロールパネル] をダブルクリックして下さい。
- ② [ネットワーク] をダブルクリックして下さい。
- ③ 以下の画面が表示されますので、TCP/IP プロトコルがセットアップされているか確認して下さい。



確認	TCP/IP プロトコルがセットアップされていない場合は、Windows やイーサネットボードのマニュアル等を参照して TCP/IP プロトコルをセットアップして下さい。
-----------	---------------------------------------------------------------------------------------

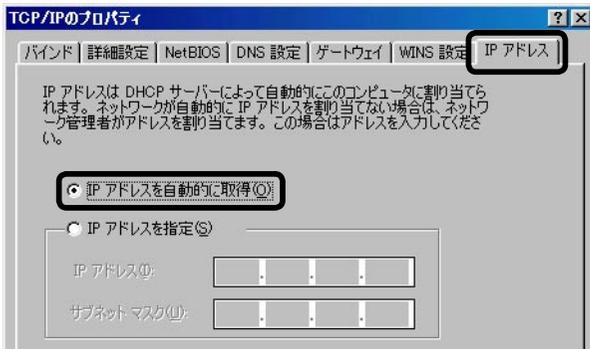
- ④ [TCP/IP -> "イーサネットボード名"] を選択して、[プロパティ] ボタンをクリックして下さい。



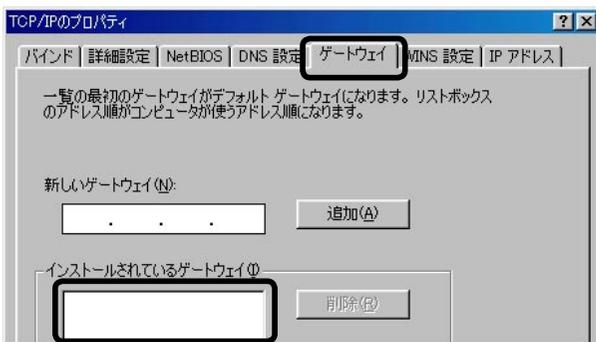
確認	パソコンにセットアップされているネットワークアダプタが一つの場合のみは、「-> "イーサネットボード名"」の部分は表示されずに、「TCP/IP」とだけ表示されます。
-----------	------------------------------------------------------------------------------------

＜次ページへ進んで下さい＞

- ⑤ 以下の画面が表示されますので、[IPアドレス]のタブをクリックして下さい。
[IPアドレスを自動的に取得]が選択されているか確認して下さい。



- ⑥ [ゲートウェイ]のタブをクリックして下さい。
[インストールされているゲートウェイ]欄が空欄になっていることを確認して下さい。
ゲートウェイがインストールされている場合は、削除して下さい。



- ⑦ [DNS設定]のタブをクリックして下さい。
[DNSを使わない]が選択されていることを確認して下さい。
確認ができましたら、各画面で[OK]ボタンをクリックして下さい。



- ⑧ Windows のメッセージに従い、Windows を再起動して下さい。

以上で設定は完了です。

「3-6. ソフトウェアの設定」(21 ページ)へ進んで下さい。

3-2. Windows 2000 (TCP/IP) の設定

Windows 2000 を接続する場合の TCP/IP プロトコルの設定について説明します。

確認

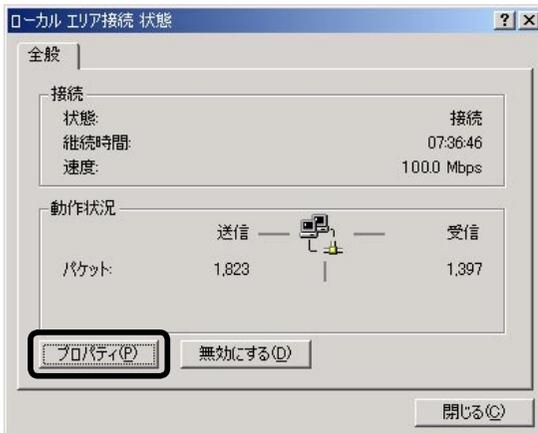
NetGenesis へ接続する全てのパソコンにあらかじめイーサネットボードをセットアップしておいて下さい。イーサネットボードのセットアップ方法については、イーサネットボードのマニュアル等を参照して下さい。

以下の手順で TCP/IP プロトコルを設定して下さい。

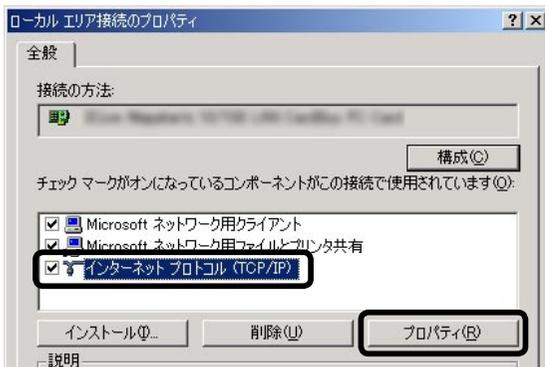
- ① [マイコンピュータ] → [コントロールパネル] → [ネットワークとダイヤルアップ接続] の順番にダブルクリックして下さい。
- ② [ローカルエリア接続] をダブルクリックして下さい。



- ③ [プロパティ] ボタンをクリックして下さい。

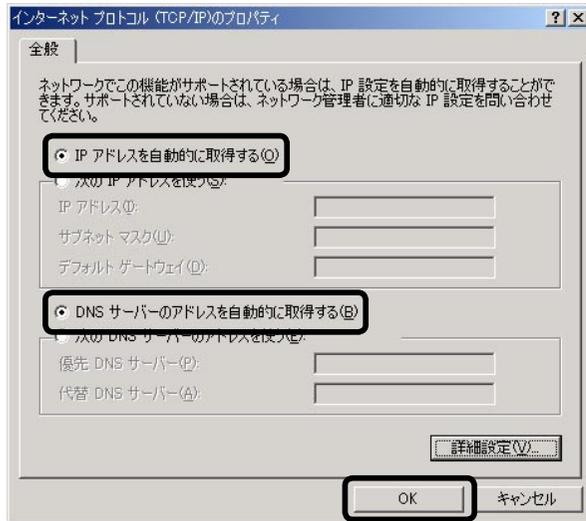


- ④ [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択して、[プロパティ] ボタンをクリックして下さい。



<次ページへ進んで下さい>

- ⑤ [IPアドレスを自動的に取得する]、及び [DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択して下さい。
設定が完了しましたら、各画面で [OK] ボタンをクリックして下さい。



以上で設定は完了です。

「3-6. ソフトウェアの設定」(21 ページ)へ進んで下さい。

3-3. Windows XP (TCP/IP) の設定

Windows XP を接続する場合の TCP/IP プロトコルの設定について説明します。

確認

NetGenesis へ接続する全てのパソコンにあらかじめイーサネットボードをセットアップしておいて下さい。イーサネットボードのセットアップ方法については、イーサネットボードのマニュアル等を参照して下さい。

以下の手順で TCP/IP プロトコルを設定して下さい。

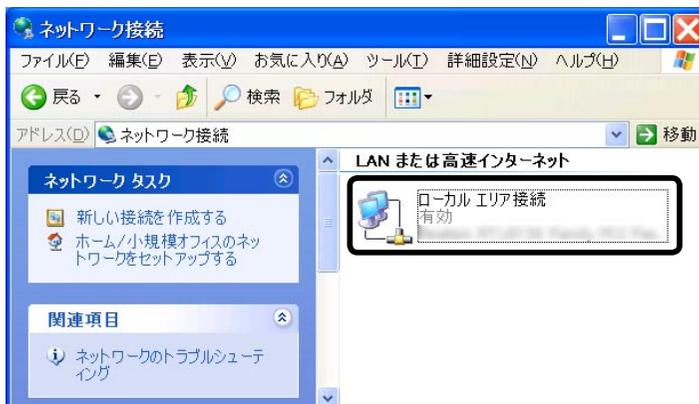
- ① [スタート]→[コントロールパネル]の順番にクリックして下さい。
- ② [ネットワークとインターネット接続]をクリックして下さい。



- ③ [ネットワーク接続]をクリックして下さい。



- ④ [ローカル エリア接続]をダブルクリックして下さい。

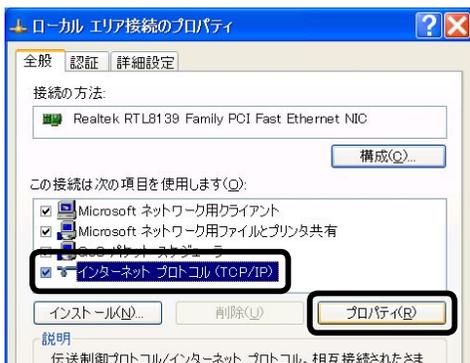


<次ページへ進んで下さい>

⑤ [プロパティ] ボタンをクリックして下さい。

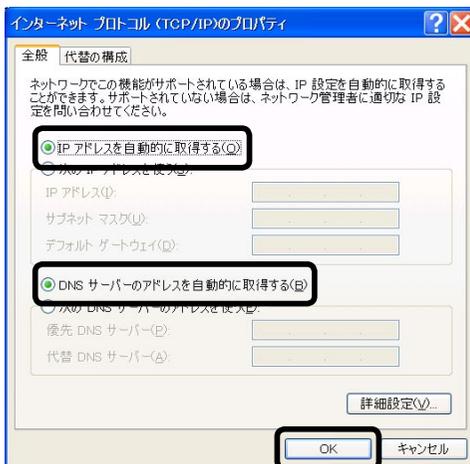


⑥ 一覧の中の [インターネット プロトコル (TCP/IP)] を選択して、[プロパティ] ボタンをクリックして下さい。



⑦ [IP アドレスを自動的に取得する]、及び [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択して、[OK] ボタンをクリックして下さい。

設定が完了しましたら、各画面で [OK] ボタンをクリックして下さい。



以上で設定は完了です。

「3-6. ソフトウェアの設定」(21 ページ)へ進んで下さい。

3-4. Mac OS 7.6.1 ~ 9.2.2(TCP/IP)の設定

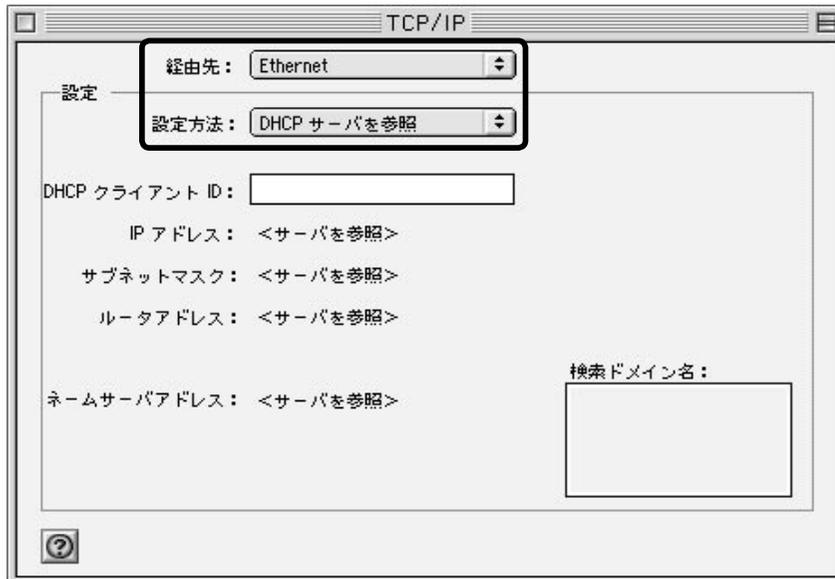
Mac OS 7.6.1 ~ 9.2.2を接続する場合のTCP/IPプロトコルの設定について説明します。

確認

NetGenesis へ接続する全てのパソコンにあらかじめイーサネットボードをセットアップしておいて下さい。イーサネットボードのセットアップ方法については、イーサネットボードのマニュアル等を参照して下さい。

以下の手順でTCP/IPプロトコルを設定して下さい。

- ① [アップルメニュー]→[コントロールパネル]→[TCP/IP]を選択して下さい。
- ② [経路先]を[Ethernet]に、[設定方法]を[DHCPサーバーを参照]に設定して画面を閉じて下さい。
(必ず設定を保存して下さい。)



以上で設定は完了です。

「3-6. ソフトウェアの設定」(21 ページ)へ進んで下さい。

3-5. Mac OS X(TCP/IP)の設定

Mac OS Xを接続する場合のTCP/IPプロトコルの設定について説明します。

確認

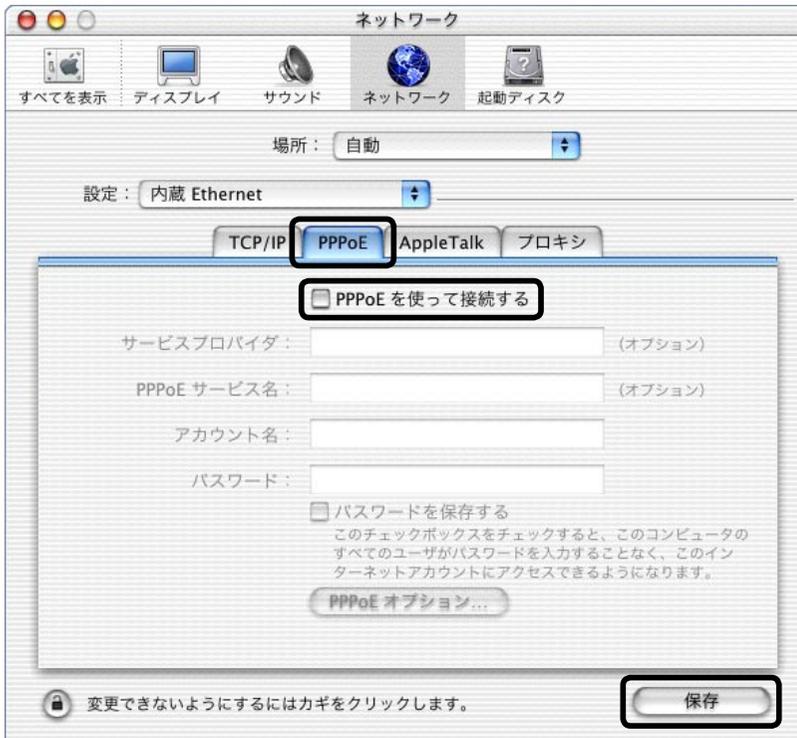
NetGenesis へ接続する全てのパソコンにあらかじめイーサネットボードをセットアップしておいて下さい。イーサネットボードのセットアップ方法については、イーサネットボードのマニュアル等を参照して下さい。

以下の手順でTCP/IPプロトコルを設定して下さい。

- ① [アップルメニュー]→[システム環境設定]と順番にクリックして下さい。
- ② 「ネットワーク」をダブルクリックして下さい。
- ③ [場所]で[自動]を、[設定]で[内蔵 Ethernet]を選択して下さい。
- ④ [TCP/IP]タブをクリックし、[設定]で[DHCP サーバを参照]を選択して下さい。
- ⑤ [IPアドレス]が「192.168.0.2 ~ 192.168.0.254」の範囲になっていることを確認して下さい。



- ⑥ [PPPoE]タブをクリックして下さい。
- ⑦ [PPPoE を使って接続する]のチェックを外して下さい。



- ⑧ 設定が完了しましたら、[保存]ボタンをクリックしてからウィンドウを閉じて下さい。

以上で設定は完了です。

「3-6. ソフトウェアの設定」(次ページ)へ進んで下さい。

3-6. ソフトウェアの設定

WWWブラウザやメールソフトウェアの設定を確認します。

3-6-1. WWWブラウザの設定

WWWブラウザは以下のように設定して下さい。

- ◆ LANを使用してインターネットへ接続する。
(「ダイヤルアップ接続」や「モデムを使用してインターネットへ接続する」設定は不可。)
- ◆ プロキシサーバーは使用しない。
(NetGenesisの設定中は「使用しない」設定にして下さい。設定完了後は使用しても問題ありません。)

以下を例に説明します。

- Windows の場合
 - ・Internet Explorer 5 ~ 6 →次項へ進んで下さい。
 - ・Netscape 6 ~ 7.1 →次ページへ進んで下さい。
- Mac OS の場合
 - ・Internet Explorer 5 →23ページへ進んで下さい。
 - ・Netscape 6 ~ 7.1 →23ページへ進んで下さい。

確認

Internet Explorer 4、Netscape Communicator 4.7については、本書では解説していません。
弊社ダウンロード & サポート情報ページからユーザーズマニュアルをダウンロードし、参照して設定を行って下さい。

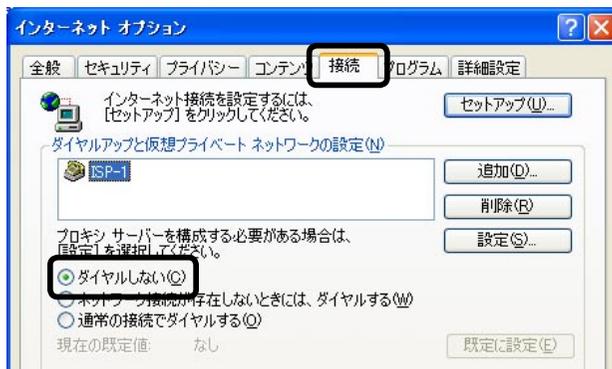
● Internet Explorer 5 ~ 6 の設定 (Windows)

①以下の手順で「インターネットのプロパティ」画面を開いてください。

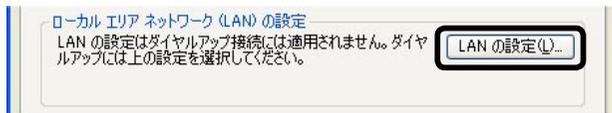
- ◆ Windows 95/98/Me/2000 の場合
[マイコンピュータ]→[コントロールパネル]→[インターネットのプロパティ]の順番にダブルクリックして下さい。
- ◆ Windows XP の場合
[スタート]→[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット接続]→[インターネット接続のセットアップや変更を行う]の順にクリックして下さい。

②[接続]のタブをクリックして下さい。
[ダイヤルしない]を選択して下さい。

※以下 Internet Explorer 6 の画面で説明します。
Internet Explorer5 の場合、若干画面が異なりますが設定箇所は同じです。



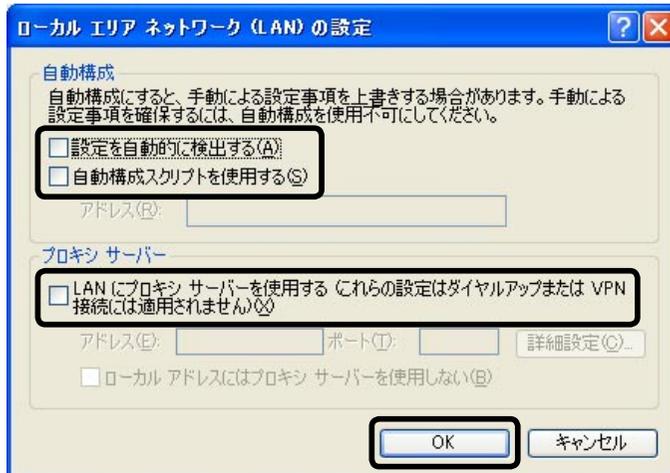
③[LANの設定]ボタンをクリックして下さい。



<次ページへ進んで下さい>

④以下の設定を行って下さい。

- ・[設定を自動的に検出する]のチェックを外して下さい。
- ・[自動設定のスクリプトを使用する]もしくは、[自動構成のスクリプトを使用する]のチェックを外して下さい。
- ・[プロキシサーバーを使用する]もしくは、[LANにプロキシサーバーを使用する]のチェックを外して下さい。



⑤各画面で[OK]ボタンをクリックして下さい。

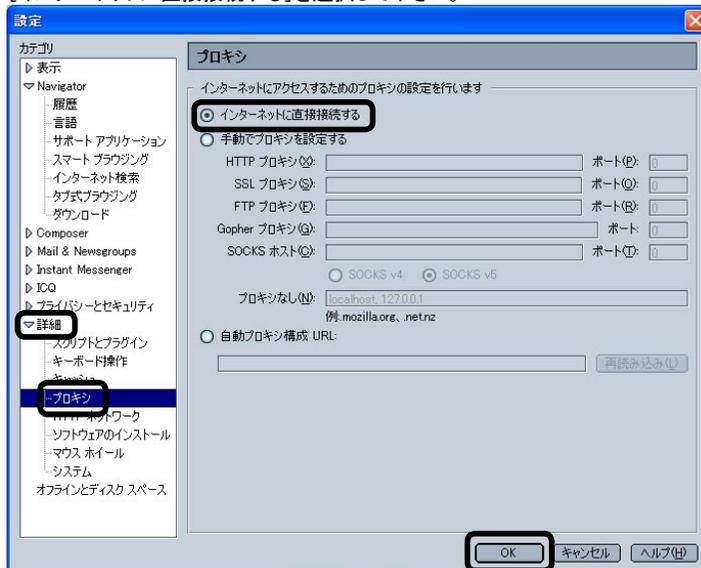
以上でInternet Explorer 5 ~ 6の設定は完了です。

「3-6-2. メールソフトウェアの設定」(24ページ)へ進んで下さい。

● Netscape 6 ~ 7.1 の設定 (Windows)

以下の手順で設定を行って下さい。

- ①Netscape を起動して下さい。
- ②[編集]メニューから[設定]をクリックして下さい。
- ③[カテゴリ]の中から[詳細]をダブルクリックして、[プロキシ]を選択して下さい。
[インターネットに直接接続する]を選択して下さい。



⑤[OK]ボタンをクリックして下さい。

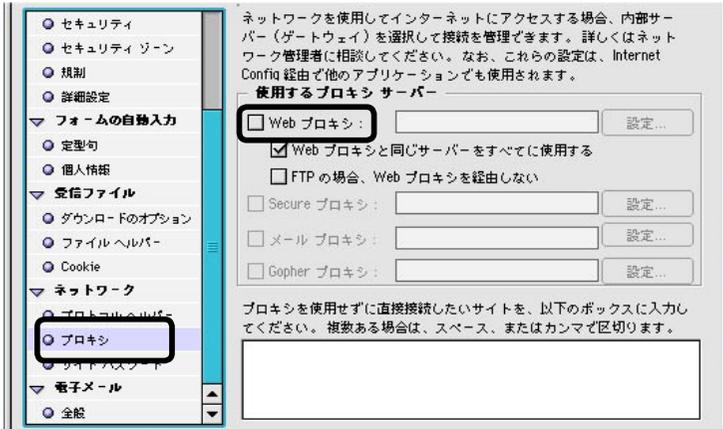
以上でNetscape6 ~ 7.1の設定は完了です。

「3-6-2. メールソフトウェアの設定」(24ページ)へ進んで下さい。

● Internet Explorer 5 の設定 (Mac OS)

以下の手順で設定を行って下さい。

- ① Internet Explorer を起動して下さい。
- ② [編集]メニューから[初期設定]をクリックして下さい。
- ③ 設定画面左側の一覧の中から[ネットワーク]をクリックして、[プロキシ]を選択して下さい。
[Web プロキシ]のチェックを外して下さい。



- ⑤ [OK]ボタンをクリックして下さい。

以上でInternet Explorer 5 ～ 6 の設定は完了です。

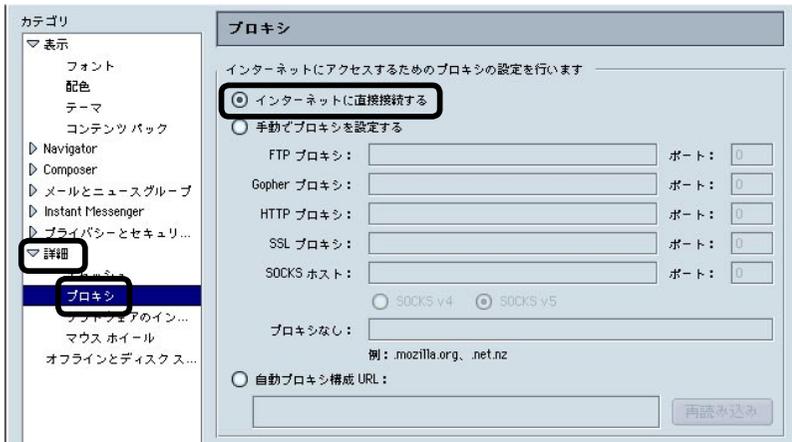
確認	Mac OSではメールソフトウェアの設定は必要ありません。 「3-4 Mac OS 7.6.1 ～ 9.2.2(TCP/IP)の設定」、「3-5. Mac OS X(TCP/IP)の設定」で行った操作により、各ソフトウェアの設定は「LANを使用してインターネットへ接続する設定」になります。
-----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

「4. ルータの設定」(25 ページ)へ進んで下さい。

● Netscape 6 ～ 7.1 の設定 (Mac OS)

以下の手順で設定を行って下さい。

- ① Netscape を起動して下さい。
- ② [編集]メニューから[設定]をクリックして下さい。
- ③ [カテゴリ]の中から[詳細]をダブルクリックして、[プロキシ]を選択して下さい。
[インターネットに直接接続する]を選択して下さい。



- ⑤ [OK]ボタンをクリックして下さい。

以上でNetscape6 ～ 7.1 の設定は完了です。

確認	Mac OSではメールソフトウェアの設定は必要ありません。 「3-4 Mac OS 7.6.1 ～ 9.2.2(TCP/IP)の設定」、「3-5. Mac OS X(TCP/IP)の設定」で行った操作により、各ソフトウェアの設定は「LANを使用してインターネットへ接続する設定」になります。
-----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

「4. ルータの設定」(25 ページ)へ進んで下さい。

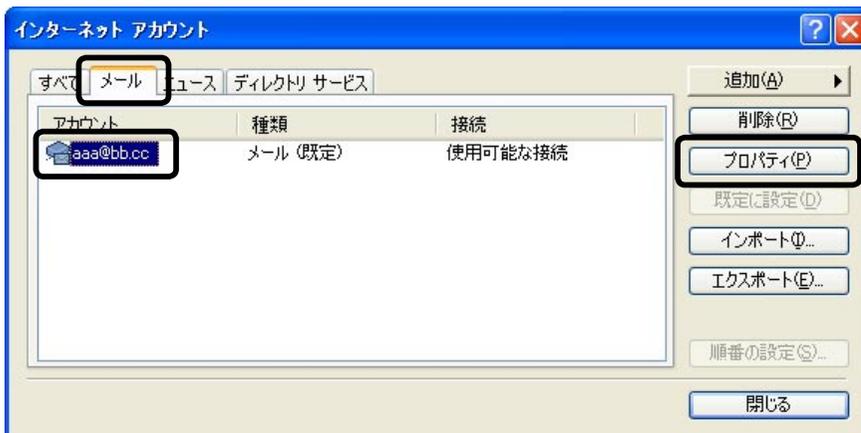
3-6-2. メールソフトウェアの設定 (Windows 環境のみ)

メールソフトウェアは「LANを使用してインターネットへ接続する」設定にしてください。
(「ダイヤルアップ接続」や「モデムを使用してインターネットへ接続する」設定は不可。)

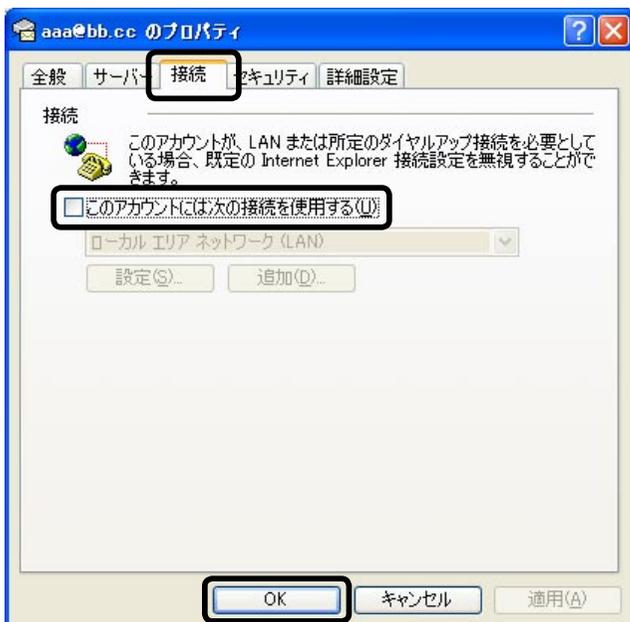
以下 Outlook Express 5 ~ 6 を例に説明します。

確認 Mac OS ではメールソフトウェアの設定は必要ありません。
「3-4 Mac OS 7.6.1 ~ 9.2.2(TCP/IP)の設定」、「3-5. Mac OS X(TCP/IP)の設定」で行った操作により、
各ソフトウェアの設定は「LANを使用してインターネットへ接続する設定」になります。

- ① Outlook Express 起動後、[ツール]メニューから、[アカウント]をクリックすると以下の画面が表示されます。
[メール]タブをクリックし、[アカウント]欄から使用しているメールのアカウント名を選択して、[プロパティ]ボタンをクリックして下さい。



- ② [接続]のタブをクリックし、[このアカウントには次の接続を使用する]のチェックを外して[OK]ボタンをクリックして下さい。



- ③ 本ページ①の画面に戻りますので、[アカウント]欄に登録されている全てのアカウントの設定が終わりましたら[閉じる]ボタンをクリックして下さい。

以上で Outlook Express 5 ~ 6 の設定は完了です。

「4. ルータの設定」(次ページ)へ進んで下さい。

4. ルータの設定

NetGenesisの設定について説明します。

4-1. 設定画面へのログオン

WWWブラウザからNetGenesisの設定画面にログオンする方法について説明します。

確認 以降、WWWブラウザの画面はInternet Explorer (Windows) を例とします。
また、WWWブラウザ側で指定しているフォントサイズ等により、表示イメージが異なる場合があります。

● WWWブラウザ設定にあたっての注意事項

- ◆ NetGenesisの設定を行うためには、以下のバージョンのWWWブラウザが必要です。
 - ・Internet Explorer 4以降
 - ・Netscape Communicator 4.7以降
 - ※Internet Explorer 5以降を推奨します。
- ◆ 複数台のパソコンから、同時にNetGenesisの設定を更新しないようにして下さい。
動作不良の原因となります。
NetGenesisの設定は1台のパソコンから管理者等が行うようにして下さい。
- ◆ NetGenesisの設定が完了した場合、必ず「設定の更新」及び「再起動」を行って下さい。
「設定の更新」及び「再起動」を行わないと、設定内容がNetGenesisに反映されませんので注意して下さい。
- ◆ 「設定の更新」を行わずにWWWブラウザを終了した(閉じた)場合、[設定]ボタンを押した画面の設定内容は保存された状態になります。(ただし、[設定の更新]を行わないと、NetGenesisの動作に反映されません。)
※ NetGenesisの電源を入れ直した場合、[設定]ボタンを押した画面の設定内容は失われます。
NetGenesisの電源を入れ直す前に[設定の更新]を行った設定内容については失われません。
- ◆ 設定画面の中の入力欄に文字を入力した後、Enterキーを押さないようにして下さい。
設定画面内のボタンが意図しないときに押されてしまう場合があります。
- ◆ 各設定画面中のプルダウンメニューから項目を選択した後、そのままホイールマウスのホイールを使用して画面をスクロールさせると、選択した項目が変わってしまいますので注意して下さい。
ホイールマウスを使用して画面をスクロールさせる場合は、設定画面中の他の場所(プルダウンメニューやボタン以外の場所)を一度クリックしてからホイールを使用して下さい。
- ◆ NetGenesisの設定は1度行えば全てのパソコンで共用できます。
NetGenesisに接続する全てのパソコンからNetGenesisの設定を行う必要はありません。

● 設定画面へのログオン

以下の手順で設定画面へログオンして下さい。

- ① WWWブラウザを起動して下さい。
- ② WWWブラウザのアドレス入力欄 (Internet Explorerの場合「アドレス」欄、Netscapeの場合「場所」欄)にNetGenesisのLANポートIPアドレス「192.168.0.1」(工場出荷値)を入力して「Enter」(Return)キーを押して下さい。

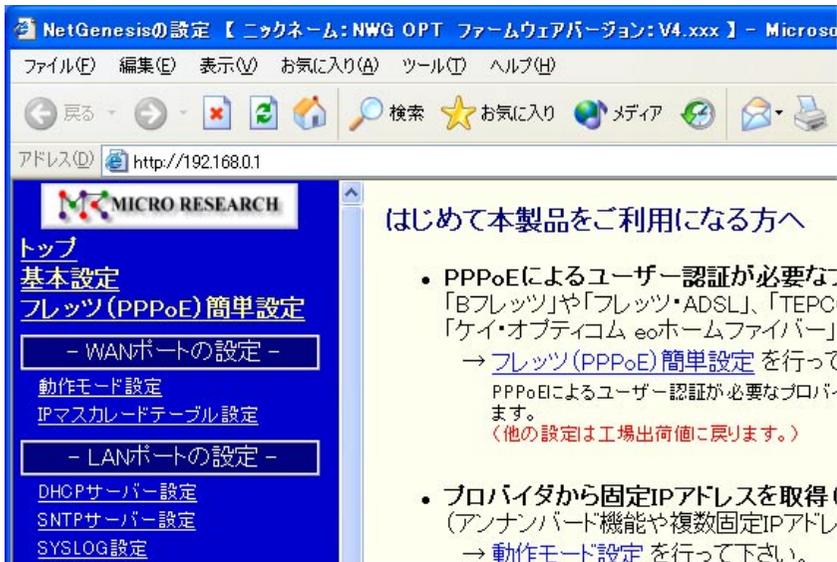


- ③ 以下のユーザー認証画面が表示されます。
「ユーザー名」に「admin」(半角英小文字)と入力し、「パスワード」は空欄のまま[OK]ボタンをクリックして下さい。



<次ページへ進んで下さい>

- ④「NetGenesisの設定」画面が表示されます。
 (「NetGenesisの設定」画面へのログイン完了です。)



確認	ログインユーザー ID、パスワードを変更したい場合は、弊社ダウンロード&サポート情報ページからユーザーズマニュアルをダウンロードし、参照して設定を行って下さい。
	NetGenesis の設定画面へログイン直したい場合は、WWW ブラウザを再起動して下さい。
	ユーザー認証画面で[キャンセル]ボタンをクリックした場合や「ユーザー名」や「パスワード」の入力を3回続けて間違えた場合、「認証キャンセル」画面が表示されます。
	「認証キャンセル」画面が表示された場合は、WWWブラウザを再起動して、ログインし直して下さい。
	ユーザー認証画面が表示されない場合、「5-5. 困ったときは (Q&A)」(48ページ)を参照して下さい。

以上で設定画面へのログインは完了です。
 「4-2. WAN ポートの設定」(次ページ)へ進んで下さい。

4-2. WANポートの設定

WANポートの設定について説明します。

確認

設定を行う前に、ISP等から提供された設定資料を用意して下さい。
NetGenesisの設定は1度行えば全てのパソコンで共用できます。
NetGenesisに接続する全てのパソコンからNetGenesisの設定を行う必要はありません。

- ◆フレッツ・ADSLやBフレッツ等PPPoEによる認証情報を設定する場合
→「4-2-1. フレッツ(PPPoE)簡単設定」(次項)へ進んで下さい。
- ◆IPアドレス等の情報を自動取得する場合(CATV、Yahoo!BB等)
→「4-2-2. DHCPクライアント機能を使う」(29ページ)へ進んで下さい。
- ◆IPアドレス等の情報を固定する場合(CATV、IPアドレス固定のISP等)
→「4-2-3. IPアドレスを固定する」(31ページ)へ進んで下さい。

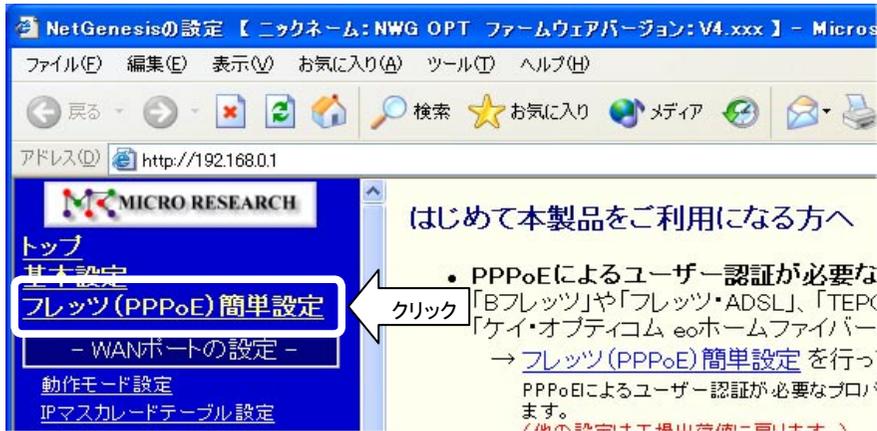
4-2-1. フレッツ(PPPoE)簡単設定(フレッツ・ADSL、Bフレッツ等)

フレッツ(PPPoE)簡単設定について説明します。

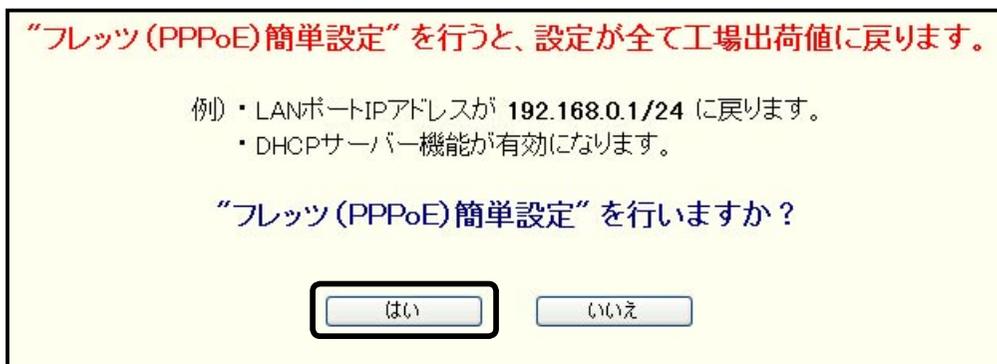
フレッツ・ADSLやBフレッツ等、PPPoEクライアント機能を使用してインターネットへ接続する場合、「フレッツ(PPPoE)簡単設定」を行うことにより、必要最低限の設定を行うだけで、インターネットへ接続することができます。

以下の手順で「フレッツ(PPPoE)簡単設定」を行って下さい。

- ①「フレッツ(PPPoE)簡単設定」の文字をクリックして下さい。



- ②以下の警告画面が表示されますので、「はい」ボタンをクリックして下さい。



確認

上記画面で「はい」ボタンをクリックすると、設定内容は工場出荷値に戻ります。
既存の設定内容を修正する場合は、「フレッツ(PPPoE)簡単設定」ではなく、WANポートの「動作モード設定」から設定を行って下さい。
【PPPoEクライアント設定画面を開く手順】
①設定画面へログオン→②[動作モード設定]をクリック→③「PPPoEクライアント、[IPアドレス自動取得]」を選択→④[選択した動作モードの詳細設定へ]ボタンをクリック。

＜次ページへ進んで下さい＞

- ③「フレッツ(PPPoE)簡単設定」画面が開きます。
以下の各項目を設定して下さい。

フレッツ (PPPoE) 簡単設定

Bフレッツやフレッツ・ADSLなど、PPPoEによるユーザー認証が必要なプロバイダへ接続するために、最低限必要な設定を行います。

下記以外の設定は全て工場出荷値に戻ります。

接続情報(アカウント)の設定

プロバイダから入手した資料を元に正しく設定して下さい。
(半角大文字・小文字を間違えないように注意して下さい。)

ユーザー名

○○○○○@△△△△△.ne.jp など、プロバイダから指定されたユーザー名を正しく入力して下さい。

パスワード

パスワード再入力

ネームサーバーの設定

プロバイダからネームサーバー (DNS) アドレスが指定されている場合は必ず入力して下さい。
(特に指定されていない場合は空欄でかまいません。)

プライマリDNS

セカンダリDNS

すべての入力が完了したらクリックして下さい。
※[設定]ボタンをクリックしても、設定画面の再読み込みが行われるのみで、画面上に変化はありません。

◆ユーザー名

→ISPから指定されたユーザー名(アカウント名、ユーザーID、ログオンID等)を半角英数字で入力して下さい。
※「ユーザー名」は「xxxxx@xxxx.ne.jp」等、「@」を含めて全て入力して下さい。

◆パスワード、パスワード再入力

→ISPから指定されたパスワードを半角英数字で入力して下さい。

確認

[ユーザー名]と[パスワード]を入力する際、半角大文字と小文字を間違えないよう注意して下さい。

◆プライマリDNS、セカンダリDNS

→ISPから指定されたDNSサーバー(ネームサーバー)のIPアドレスを入力して下さい。
ISPの資料を参照して、特に記載が無い場合はそのまま空欄にして下さい。

- ④設定が完了しましたら、[設定]ボタンをクリックして下さい。

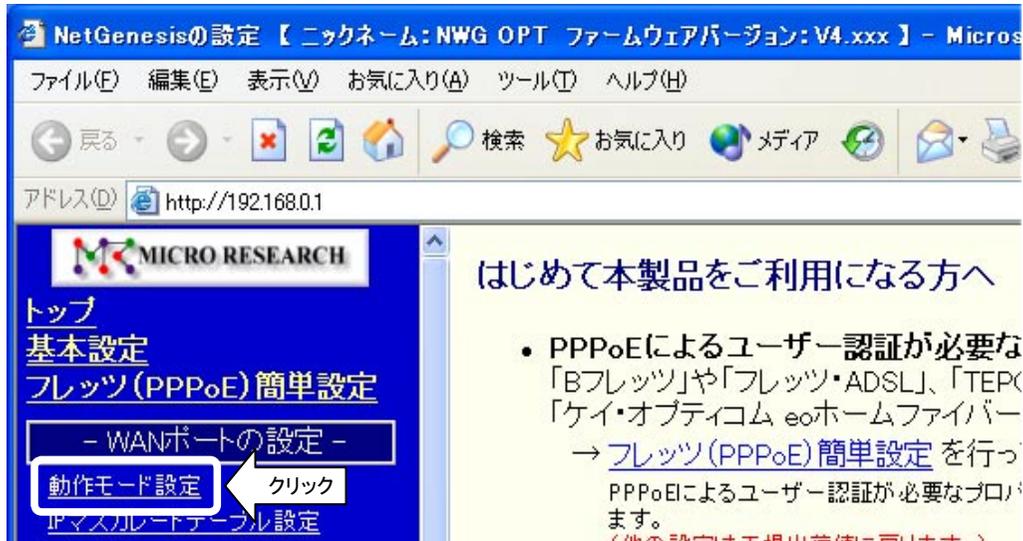
以上で、「フレッツ(PPPoE)簡単設定」は完了です。

「4-3. 設定の更新」(34ページ)へ進んで下さい。

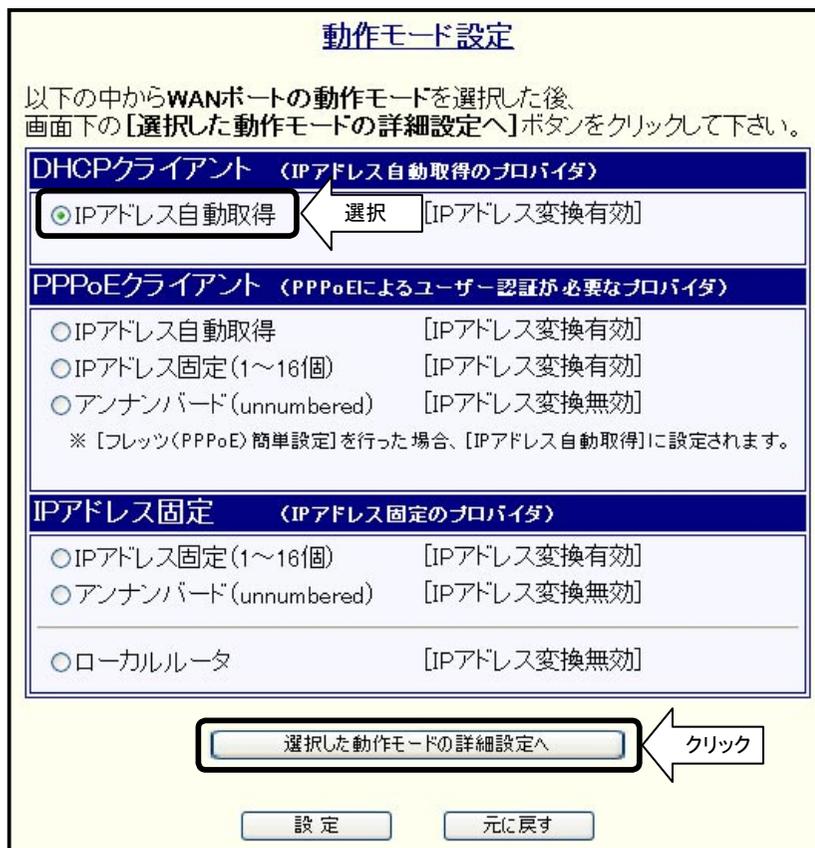
4-2-2. DHCPクライアント機能を使う(CATV、Yahoo!BB等)

WANポートで「DHCPクライアント機能を使用する」場合の設定について説明します。

①「動作モード設定」の文字をクリックして下さい。



②「動作モード設定」画面が開きますので、「DHCPクライアント(IPアドレス自動取得のプロバイダ)」欄の「IPアドレス自動取得」を選択して、「選択した動作モードの詳細設定へ」ボタンをクリックして下さい。



<次ページへ進んで下さい>

③「DHCPクライアント設定」画面が開きますので、以下の各項目を設定して下さい。

DHCPクライアント設定

[IPアドレス自動取得 / IPアドレス変換有効]

DHCPクライアントのオプション設定

ホスト名(コンピュータ名)

ネームサーバーの設定

WAN側から取得したDNS情報を優先する

プライマリDNS

セカンダリDNS

サードDNS

フォースDNS

※画面は一部省略しています。

MACアドレスの設定

工場出荷値のMACアドレスを使用

MACアドレスを指定する:

すべての入力が完了したらクリックして下さい。
※[設定]ボタンをクリックしても、設定画面の再読み込みが行われるのみで、画面上に変化はありません。

◆ホスト名(コンピュータ名)

→「ホスト名(コンピュータ名)」欄に必要なに応じて[ホスト名]を入力して下さい。
 契約しているISPによっては、ホスト名やコンピュータ名の入力が必要とすることがあります。
 詳しくは、ISPから提供された設定資料等を参照するか、ISPにお問い合わせ下さい。
 ホスト名の入力が必要としない場合はそのまま空欄にして下さい。

◆ネームサーバーの設定

→ISPから提供された設定資料等に、DNSサーバーの情報が無い場合は[WAN側から取得したDNS情報を優先する]にチェックを入れて[プライマリDNS]から[フォースDNS]欄まで空欄のままにして下さい。
 DNSサーバーの情報があある場合は、[WAN側から取得したDNS情報を優先する]のチェックを外してDNSサーバーのIPアドレスを入力して下さい。

確認	<p>DMZホスト機能の設定、IPアドレス変換の設定、Windows Messenger変換の設定、VPN変換の設定、MACアドレスの設定については本書では解説していません。 これらの機能を使用(変更)する場合は、弊社ダウンロード&サポート情報ページからユーザーズマニュアルをダウンロードし、参照した後に設定を行って下さい。</p> <p>UPnPニックネームの設定については本書の別項で解説しています。 詳しくは「5-4 UPnP(ユニバーサルプラグアンドプレイ)機能の使用法」(40ページ)を参照して下さい。</p>
-----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

④設定が完了しましたら、[設定]ボタンをクリックして下さい。

以上で、「WANポートの設定」は完了です。

「4-3. 設定の更新」(34ページ)へ進んで下さい。

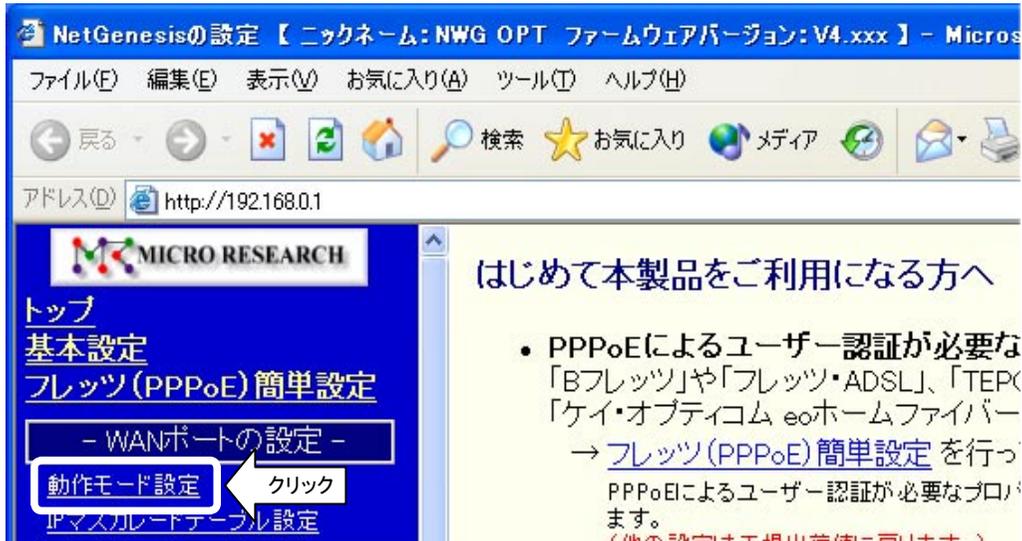
4-2-3. IPアドレスを固定する(CATV、IPアドレス指定のISP等)

WANポートに「IPアドレスを固定する」場合の設定について説明します。

確認

本書ではIPアドレスを1個固定する設定のみ説明しています。
複数のIPアドレスを使用する場合は、弊社ダウンロード&サポート情報ページからユーザーズマニュアルをダウンロードし、参照して設定を行って下さい。

①「動作モード設定」の文字をクリックして下さい。



②「動作モード設定」画面が開きますので、「IPアドレス固定」欄の「IPアドレス固定(1～16個)」を選択して、
[選択した動作モードの詳細設定へ]ボタンをクリックして下さい。

動作モード設定

以下の中からWANポートの動作モードを選択した後、画面下の[選択した動作モードの詳細設定へ]ボタンをクリックして下さい。

DHCPクライアント (IPアドレス自動取得のプロバイダ)	
<input type="radio"/> IPアドレス自動取得	[IPアドレス変換有効]

PPPoEクライアント (PPPoEによるユーザー認証が必要なプロバイダ)	
<input type="radio"/> IPアドレス自動取得	[IPアドレス変換有効]
<input type="radio"/> IPアドレス固定(1～16個)	[IPアドレス変換有効]
<input type="radio"/> アンナンバード(unnumbered)	[IPアドレス変換無効]

※ [フレッツ(PPPoE)簡単設定]を行った場合、[IPアドレス自動取得]に設定されます。

IPアドレス固定 (IPアドレス固定のプロバイダ)	
<input checked="" type="radio"/> IPアドレス固定(1～16個)	[IPアドレス変換有効]
<input type="radio"/> アンナンバード(unnumbered)	[IPアドレス変換無効]
<input type="radio"/> ローカルルータ	[IPアドレス変換無効]

選択した動作モードの詳細設定へ ← クリック

設定 元に戻す

<次ページへ進んで下さい>

③「IPアドレス固定(1～16個)設定」画面が開きます。

④ISP から提供された資料等を参照して、「WAN 側ネットワークの設定」欄を設定して下さい。

- ◆ネットワークアドレス / サブネット
→ISP から指定されたネットワークアドレス、及びサブネットを入力して下さい。
ネットワークアドレスがわからない場合は、ISP から指定されたIPアドレスを入力して下さい。
サブネットがわからない場合は、入力欄右の「サブネットについて」のリンクをクリックして下さい。
サブネットの入力についてのヘルプ画面が開きます。
- ◆デフォルトゲートウェイ
→ISP から指定されたデフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力して下さい。

確認	入力する設定値を間違えないよう、くれぐれも注意して下さい。 設定値を誤ったまま設定を更新した場合、ISP や他の利用者に多大な迷惑をかける恐れがあります。
-----------	----------------------------------------------------------------------------------

⑤「変換用ネットワークの設定」欄を設定して下さい。

- ◆WAN 側 IP マスカレード変換用 IP アドレス
→ISP から指定されたIPアドレスを入力して下さい。

確認	入力する設定値を間違えないよう、くれぐれも注意して下さい。 設定値を誤ったまま設定を更新した場合、ISP や他の利用者に多大な迷惑をかける恐れがあります。
-----------	----------------------------------------------------------------------------------

- ◆サブネット(変換IPアドレス数)
→[255.255.255.255(/32・1個)]を選択して下さい。
- ◆LAN 側変換後の先頭IPアドレス
→NetGenesis のLANポートIPアドレス「192.168.0.1」(工場出荷値)を入力して下さい。

<次ページへ進んで下さい>

⑥ ISP から提供された資料等を参照して、DNS サーバー（ネームサーバー）の IP アドレスを入力して下さい。

ネームサーバーの設定	
プライマリDNS	<input type="text" value="xxx.xxx.xxx.200"/>
セカンダリDNS	<input type="text" value="xxx.xxx.xxx.201"/>
サードDNS	<input type="text" value="xxx.xxx.xxx.202"/>
フォースDNS	<input type="text" value="xxx.xxx.xxx.203"/>

確認

プライマリDNSは必ず入力して下さい。
セカンダリDNS ~ フォースDNSは必要に応じて入力して下さい。

⑦ 設定が完了しましたら、[設定] ボタンをクリックして下さい。

IPアドレス固定(1~16個)設定	
[IPアドレス変換有効]	
WAN側 ネットワークの設定	
ネットワークアドレス/サブネット	<input type="text" value="xxx.xxx.xxx.0/24"/> サブネットについて
デフォルトゲートウェイ	<input type="text" value="xxx.xxx.xxx.250"/>
IPアドレス変換の設定	
変換用ネットワークの設定	
WAN側 IPマスカレード変換用IPアドレス	<input type="text" value="xxx.xxx.xxx.123"/>
サブネット(変換IPアドレス数)	<input type="text" value="255.255.255.255(/32・1個)"/> ▼
LAN側 変換後の先頭IPアドレス	<input type="text" value="192.168.0.1"/>
※画面は一部省略しています。	
ネームサーバーの設定	
プライマリDNS	<input type="text" value="xxx.xxx.xxx.200"/>
セカンダリDNS	<input type="text" value="xxx.xxx.xxx.201"/>
サードDNS	<input type="text" value="xxx.xxx.xxx.202"/>
フォースDNS	<input type="text" value="xxx.xxx.xxx.203"/>
MACアドレスの設定	
<input checked="" type="radio"/> 工場出荷値のMACアドレスを使用する: 00:10:00:00:00:00	すべての入力が完了したらクリックして下さい。 ※[設定]ボタンをクリックしても、設定画面の再読み込みが行われるのみで、画面上に変化はありません。
<input type="radio"/> MACアドレスを指定する: <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/>	
<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="元に戻す"/>	

確認

DMZ ホスト機能の設定、IP マスカレード変換の設定、Windows Messenger 変換の設定、VPN 変換の設定、MAC アドレスの設定については本書では解説していません。
これらの機能を使用(変更)する場合は、弊社ダウンロード&サポート情報ページからユーザーズマニュアルをダウンロードし、参照した後に設定を行って下さい。

UPnP ニックネームの設定については本書の別項で解説しています。
詳しくは「5-4 UPnP(ユニバーサルプラグアンドプレイ)機能の使用法」(40ページ)を参照して下さい。

以上で、「WANポートの設定」は完了です。

「4-3. 設定の更新」(次ページ)へ進んで下さい。

4-3. 設定の更新

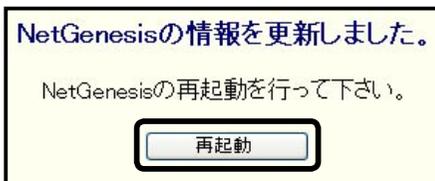
設定内容の更新について説明します。

①すべての設定が完了しましたら、[設定の更新]の文字をクリックして下さい。

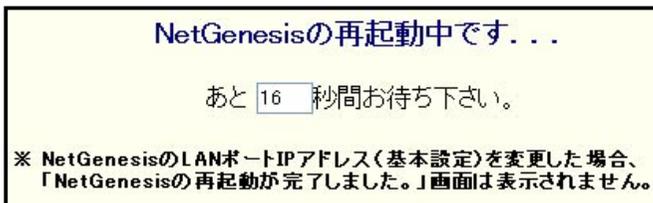


②「設定の更新」画面が表示されますので、[更新]ボタンをクリックして下さい。

③以下の画面が表示されますので、[再起動]ボタンをクリックして下さい。



④以下の画面が表示されますので、カウントダウンが完了し、画面が切り替わるまで何も操作しないで下さい。



確認

NetGenesisの再起動には約1分かかります。
再起動が完了するまでNetGenesisのPOWERランプが点滅します。

<次ページへ進んで下さい>

⑤以下のメッセージが表示されると、設定内容の更新は完了です。

NetGenesisの再起動が完了しました。

- 「設定の更新」を行った方
引き続き設定や制御、情報表示を行う場合は、左のメニューをクリックして下さい。
- 「ファームウェアバージョンアップ」を行った方
設定や制御、情報表示を行う場合は、ブラウザを再起動して下さい。

設定更新が完了した時点で、NetGenesisは自動的にISPとの接続を開始します。

確認

NetGenesisの設定(WANポートの設定)は、NetGenesis内部のフラッシュROMに設定が書き込まれますので、パソコンを複数台接続する場合、2台目以降のパソコンからNetGenesisの設定を再度行う必要はありません。2台目以降のパソコンは、「3.パソコンの設定」(13ページ)のみ行えば、インターネットへ接続することができます。

5. 付録

以下の内容について説明します。

- 5-1. ファームウェアバージョンとMACアドレスの確認方法(次項)
- 5-2. SYSLOG機能の使用法(次ページ)
- 5-3. ISPから自動取得したIPアドレスの確認方法(39ページ)
- 5-4. UPnP(ユニバーサルプラグアンドプレイ)機能の使用法(40ページ)
- 5-5. 困ったときは(Q&A)(48ページ)
- 5-6. ユーザーサポートについて(54ページ)

5-1. ファームウェアバージョンとMACアドレスの確認方法

NetGenesisのファームウェアバージョンとMACアドレス(物理アドレス)の確認方法について説明します。

①「NetGenesisの設定」画面を起動して下さい。

※「4-1. 設定画面へのログオン」(25ページ)を参照して下さい。

②トップ画面にNetGenesis本体のファームウェアバージョン、MACアドレス等の各情報が表示されます。

LANポート及びWANポートのMACアドレスは、NetGenesis本体側面のラベルでも確認することができます。(バーコードの下の「WAN:」以降、「LAN:」以降の英数字がMACアドレスです。)



5-2. SYSLOG機能の使用方法

● SYSLOG機能とは？

SYSLOG機能とは、システムで発生したイベントや情報などを、システムのメッセージとしてNetGenesisに接続したパソコンに表示する機能です。

確認

本書では、SYSLOG機能の基本的な操作のみ説明します。
SYSLOG機能の詳細については、弊社ダウンロード&サポート情報ページからユーザーズマニュアルをダウンロードし、参照して下さい。

5-2-1.SYSLOGの表示

SYSLOGの表示方法について説明します。

- ①「NetGenesisの設定」画面へログインして下さい。
※「4-1.設定画面へのログイン」(25ページ)を参照して下さい。
- ②メニューより「SYSLOG表示」の文字をクリックして下さい。
「SYSLOG表示」画面が表示されます。

NetGenesisの設定 【 ネットワーク名: NWG OPT ファームウェアバージョン: V4.xxx 】 - Microsoft Internet Explorer

アドレス http://192.168.0.1/

SYSLOG表示

```
---:--- LOG_INFO NWG: V4.xxx Syslog start.
---:--- LOG_INFO SYS:DNS: Primary name server address established. (111.111.111.111)
---:--- LOG_INFO SYS:DNS: Secondary name server address established. (222.222.222.222)
---:--- LOG_INFO S03:POE: Open start.
---:--- LOG_INFO S03:POE: Discovery stage start.
---:--- LOG_INFO S03:POE: Discovery stage opened.
---:--- LOG_INFO S03:POE: Session stage start.
---:--- LOG_INFO S03:PPP: Open start.
---:--- LOG_INFO S03:PPP: LCP UP.
---:--- LOG_INFO S03:PPP: CHAP UP.
---:--- LOG_INFO S03:PPP: IPCP UP. My IP=xxx.xxx.xxx.xxx , Peer IP=yyy.yyy.yyy.yyy
---:--- LOG_INFO S03:PPP: PridNS=111.111.111.111 , SecDNS=222.222.222.222
---:--- LOG_INFO S03:POE: Session stage opened.
---:--- LOG_INFO SYS:DNS: Primary name server address changed. (111.111.111.111)
---:--- LOG_INFO SYS:DNS: Secondary name server address changed. (222.222.222.222)
---:--- LOG_INFO SYS:DNS: Third name server address changed. (0.0.0.0)
---:--- LOG_INFO SYS:DNS: Fourth name server address changed. (0.0.0.0)
---:--- LOG_INFO S03: : Connect successfully.(--:--:--)
```

最新の情報に更新

SYSLOGはリアルタイムでは表示されません。
以降のSYSLOGを表示する場合は、このボタンをクリックして下さい。

確認

「NetGenesisの設定」画面でSYSLOGを表示させる場合は、SYSLOGの設定は特に必要ありません。(工場出荷値では、メッセージタイプ「LOG_INFO」のみ表示する設定になっています。)ただし、メッセージタイプを変更する場合や、他のSYSLOGソフトウェアでSYSLOGを受信する場合は、SYSLOGの設定が必要になります。
設定方法については、弊社ダウンロード&サポート情報ページからユーザーズマニュアルをダウンロードし、参照して下さい。

「SYSLOG表示」画面には、メニューの「SYSLOG表示」の文字をクリックした時点までのSYSLOGが表示されます。(リアルタイムでは表示されません。)
以降のSYSLOGを見る場合は、[最新の情報に更新]ボタンをクリックして下さい。

SYSLOGの「時間」を表示させる場合は、NetGenesisの「時刻設定」が必要になります。
設定方法については、弊社ダウンロード&サポート情報ページからユーザーズマニュアルをダウンロードし、参照して下さい。(「時刻設定」がされていない場合、「---:---」と表示されます。)

「NetGenesisの設定」画面で表示可能なSYSLOGの行数は100行までです。
SYSLOGが100行に達すると、新たなSYSLOGを表示するたび、古いものから消去されていきます。
101行以上のSYSLOGを表示したい場合は、他のSYSLOGソフトウェア等を使用して下さい。

「NetGenesisの設定」画面ではSYSLOGをファイルとして保存することはできません。
SYSLOGをファイルとして保存したい場合は、他のSYSLOGソフトウェア等を使用して下さい。

5-2-2.SYSLOG 表示例

● PPPoE 接続成功例

```
NWG      V4.xxx Syslog start.
SYS:DNS: Primary name server address established. (111.111.111.111)
SYS:DNS: Secondary name server address established. (222.222.222.222)
S03:POE: Open start.
S03:POE: Discovery stage start.
S03:POE: Discovery stage opened.
S03:POE: Session stage start.
S03:PPP: Open start.
S03:PPP: LCP UP.
S03:PPP: CHAP UP.
S03:PPP: IPCP UP. My IP=xxx.xxx.xxx.xxx.
S03:PPP: PriDNS=111.111.111.111, SecDNS=222.222.222.222
S03:POE: Session stage opened.
SYS:DNS: Primary name server address changed. (111.111.111.111)
SYS:DNS: Secondary name server address changed. (222.222.222.222)
SYS:DNS: Third name server address changed. (0.0.0.0)
SYS:DNS: Fourth name server address changed. (0.0.0.0)
S03: : Connect successfully.(--:--:--)
```

NetGenesis のファームウェアバージョン

接続を開始した。

ISPとのユーザー認証(ユーザー名、パスワードの確認)が正しく完了した。
(ISPの認証方式によっては、「PAP UP」と表示される場合があります。)

ISP から取得した IP アドレス。

ISP との接続が完了した。
(インターネットへ接続可能)

● PPPoE 接続失敗例

```
NWG      V4.xxx Syslog start.
SYS:DNS: Primary name server address established. (111.111.111.111)
SYS:DNS: Secondary name server address established. (222.222.222.222)
S03:POE: Open start.
S03:POE: Discovery stage start.
S03:POE: Discovery stage opened.
S03:POE: Session stage start.
S03:PPP: Open start.
S03:PPP: LCP UP.
S03:PPP: CHAP DOWN.
S03:PPP: LCP DOWN.
S03:POE: Session stage closed.
S03:POE: Closed(Closed session stage).
SYS:DNS: Primary name server address changed. (111.111.111.111)
SYS:DNS: Secondary name server address changed. (222.222.222.222)
SYS:DNS: Third name server address changed. (0.0.0.0)
SYS:DNS: Fourth name server address changed. (0.0.0.0)
S03: : Disconnect successfully, duration 00:00:00.(--:--:--)
```

NetGenesis のファームウェアバージョン

接続を開始した。

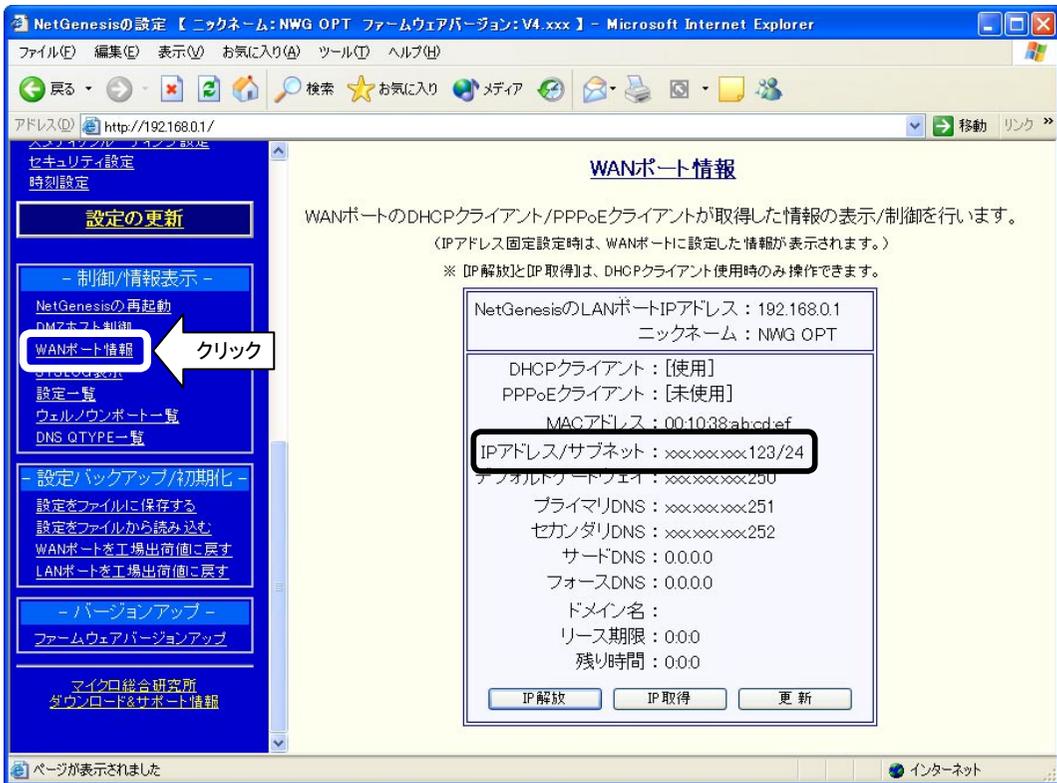
ISPとのユーザー認証(ユーザー名、パスワードの確認)に失敗した。
(ISPの認証方式によっては、「PAP DOWN」と表示される場合があります。)

ISP との接続に失敗した。

5-3. ISP から自動取得した IP アドレスの確認方法

NetGenesis の WAN ポートが ISP から自動取得した IP アドレスの確認方法について説明します。
「NetGenesis の設定」画面の「WANポート情報」で確認することができます。

- ①「NetGenesis の設定」画面へログインして下さい。
※「4-1. 設定画面へのログイン」(25 ページ)を参照して下さい。
- ②メニューより「WANポート情報」の文字をクリックして下さい。
「WANポート情報」画面が表示されます。
ISP から自動取得した IP アドレスは「IP アドレス / サブネット」欄に表示されます。



確認

ISP から取得した複数の固定IPアドレスを設定した場合は、「IPアドレス / サブネット」欄は空欄になります。

5-4. UPnP(ユニバーサルプラグアンドプレイ)機能の使用方法

UPnP(ユニバーサルプラグアンドプレイ)機能の使用方法について説明します。

●UPnP対応OSについて

UPnPを使用するには、UPnP対応OS(オペレーティングシステム)が必要です。
UPnPに対応しているOSは以下の通りです。(平成16年2月現在)

- ・Windows XP
- ・Windows Me

●UPnP対応アプリケーションについて

UPnPを使用するには、アプリケーションがUPnPに対応している必要があります。
弊社で動作確認済みのUPnP対応アプリケーションは以下の通りです。(平成16年2月現在)

- ・Windows Messenger 5.0以降
- ・MSN Messenger 5.0以降

■NetGenesisのUPnP設定

→「5-4-1.NetGenesisの設定」(次項)を参照して下さい。

■Windows Meで使用する場合

→「5-4-2. Windows MeでUPnP機能を使用する」(次ページ)を参照して下さい。

■Windows XPで使用する場合

→「5-4-3. Windows XPでUPnP機能を使用する」(44ページ)を参照して下さい。

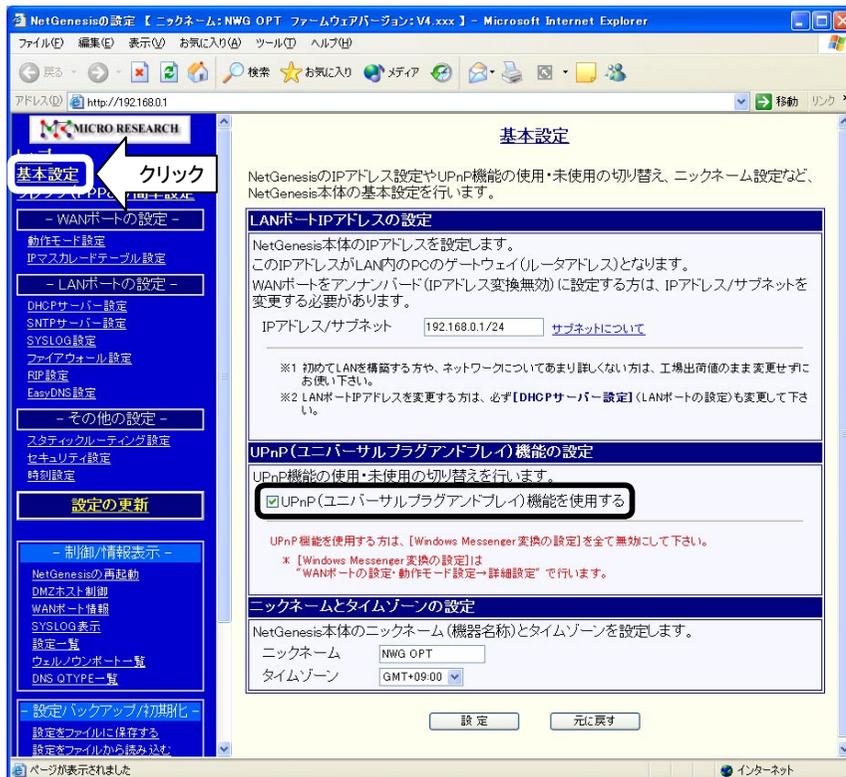
5-4-1.NetGenesisの設定

NetGenesisは工場出荷時、UPnP機能が有効になっています。
UPnP機能が有効かどうかは、以下の手順で確認することができます。

①「NetGenesisの設定」画面を起動して下さい。
※「4-1. 設定画面へのログオン」(25ページ)を参照して下さい。

②「基本設定」の文字をクリックして下さい。
「基本設定」画面が開きます。

「UPnP(ユニバーサルプラグアンドプレイ)機能を使用する」のチェックを外すとUPnP機能が無効になります。



確認

設定を変更した場合は、[設定]ボタンをクリックし、必ず「設定の更新」を行って下さい。
設定の更新方法については「4-3. 設定の更新」(34ページ)を参照下さい。

5-4-2. Windows MeでUPnP機能を使用する

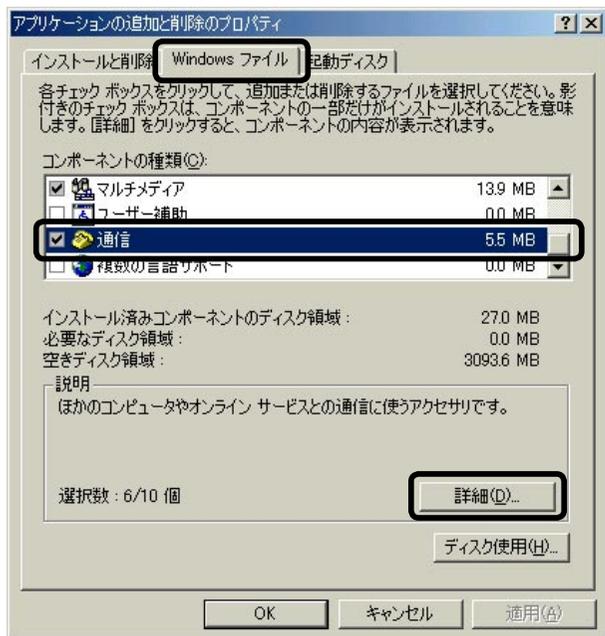
確認

UPnP機能を使用する前にご利用のパソコンでWindows Updateを実行し、常に最新の状態にすることを推奨します。

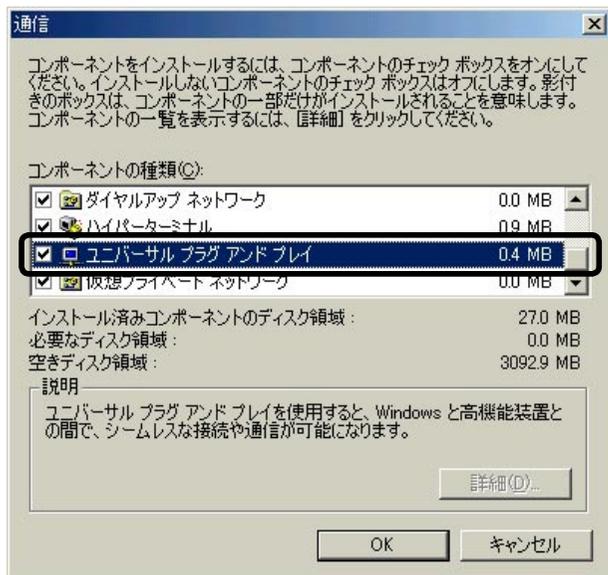
● UPnP サポートの確認

以下の手順でご利用のパソコンにUPnPサポートがインストールされているか確認して下さい。

- ①[マイコンピュータ]→[コントロールパネル]→[アプリケーションの追加と削除]の順番にダブルクリックして下さい。
- ②[Windows ファイル]タブをクリックして下さい。
- ③「コンポーネントの種類」欄から「通信」を選択し、[詳細]ボタンをクリックして下さい。



- ④「コンポーネントの種類」欄の「ユニバーサルプラグアンドプレイ」にチェックが入っているか確認して下さい。チェックが入っていない場合は、チェックを入れて[OK]ボタンをクリックし、インストールを行って下さい。(インストールする際、WindowsのCD-ROMを要求される場合があります。)

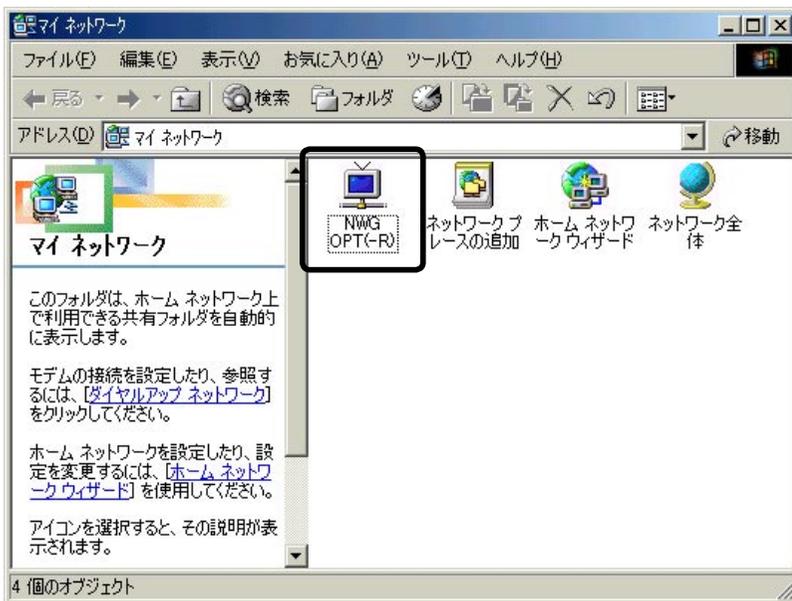


<次ページへ進んで下さい>

●UPnP 機能の動作確認

以下の手順で、UPnP 機能が正しく動作しているか確認して下さい。

- ①デスクトップ上の [マイネットワーク] アイコンをダブルクリックして下さい。
- ②「NWG OPT(-R)」アイコンが表示されていることを確認して下さい。



上記アイコンを右クリックして [プロパティ] を選択すると、NetGenesis のプロパティが表示されます。



確認

「NWG OPT(-R)」アイコンをダブルクリックすると、「NetGenesis の設定」画面が開きます。

<次ページへ進んで下さい>

● MSN Messenger のバージョン確認

ご利用のパソコンに MSN Messenger 5.0 以降がインストールされているか確認して下さい。

MSN Messenger のバージョンは、MSN Messenger のメニューから [ヘルプ] → [MSN Messenger のバージョン情報] で確認することができます。

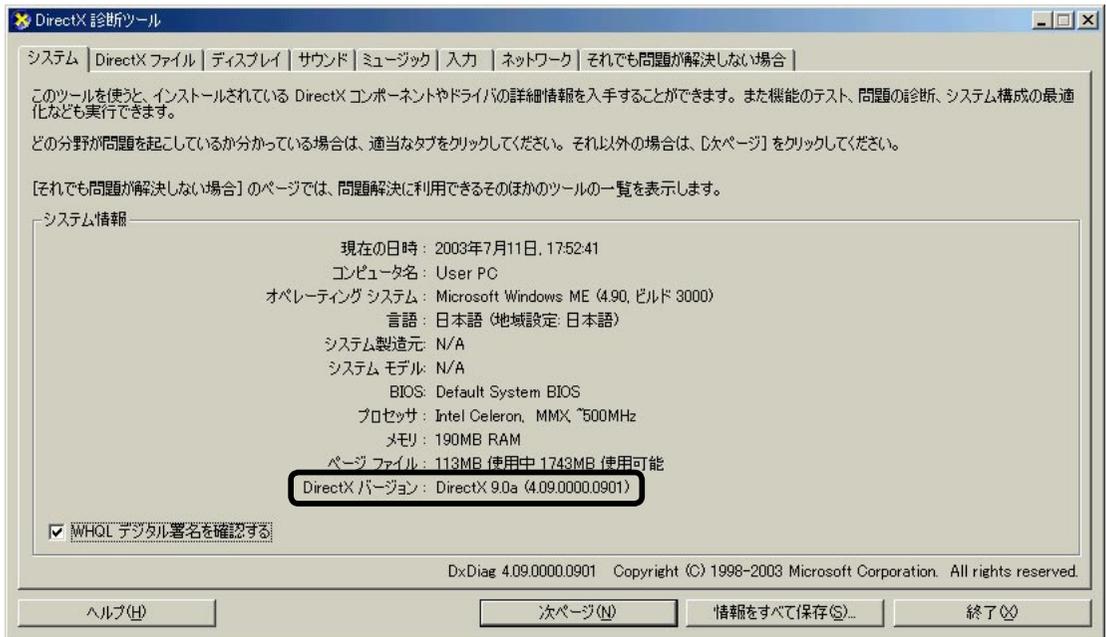


ご利用の MSN Messenger のバージョンが古い場合は、バージョンアップを行って下さい。

● DirectX のバージョン確認

ご利用のパソコンに DirectX8.1 以降がインストールされているか確認して下さい。

DirectX のバージョンは、[スタート] → [ファイル名を指定して実行] を選択し、「dxdiag」と入力して [OK] ボタンをクリックすることで確認することができます。



ご利用の DirectX のバージョンが古い場合は、バージョンアップを行って下さい。

5-4-3. Windows XP で UPnP 機能を使用する

確認

UPnP 機能を使用する前にご利用のパソコンで Windows Update を実行し、常に最新の状態にすることを推奨します。

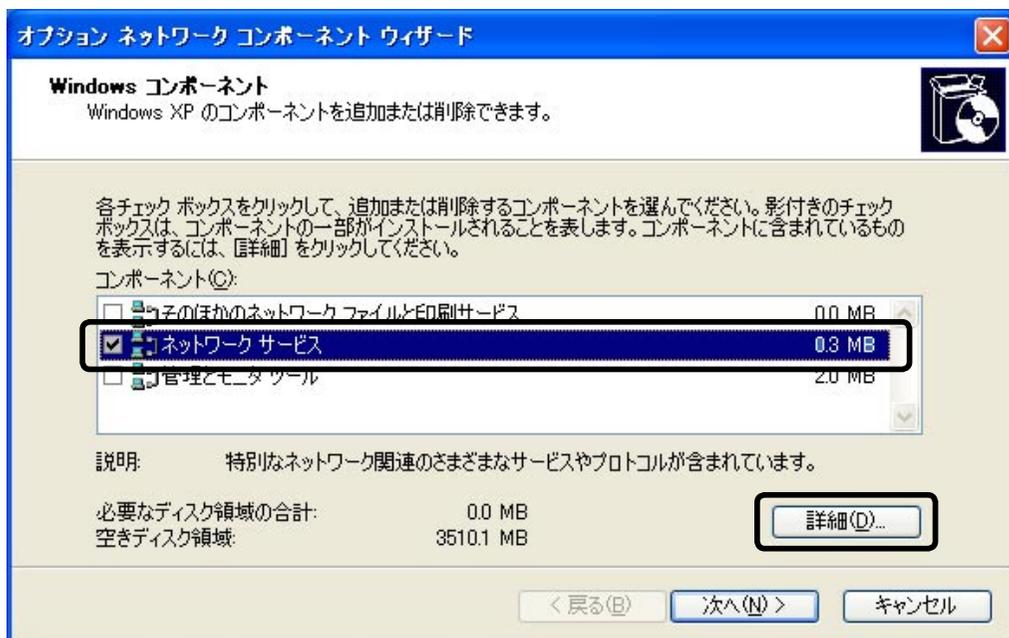
● UPnP サポートの確認

以下の手順でご利用のパソコンに UPnP サポートがインストールされているか確認して下さい。

- ① [スタート] → [コントロールパネル] → [ネットワークとインターネット接続] → [ネットワーク接続] の順番にクリックして下さい。
- ② [詳細設定] メニューから [オプション ネットワーク コンポーネント] をクリックして下さい。

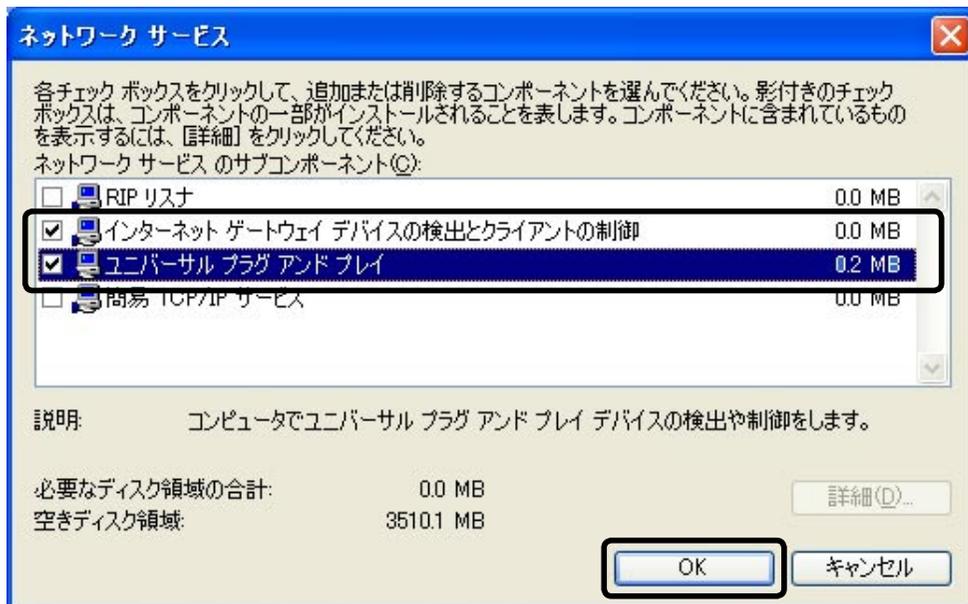


- ③ 「ネットワークサービス」を選択し、[詳細] ボタンをクリックして下さい。



<次ページへ進んで下さい>

- ④「インターネット ゲートウェイ デバイスの検出とクライアント制御」及び、「ユニバーサル プラグ アンド プレイ」にチェックが入っているか確認して下さい。
 チェックが入っていない場合は、チェックを入れて [OK] ボタンをクリックし、インストールを行って下さい。
 (インストールする際、Windows の CD-ROM を要求される場合があります。)



確認 ご利用環境によっては「インターネット ゲートウェイ デバイスの検出とクライアント制御」が表示されない場合があります。
 その場合は、「ユニバーサル プラグアンド プレイ」のみチェックを入れて下さい。

● UPnP 機能の動作確認

以下の手順で、UPnP 機能が正しく動作しているか確認して下さい。

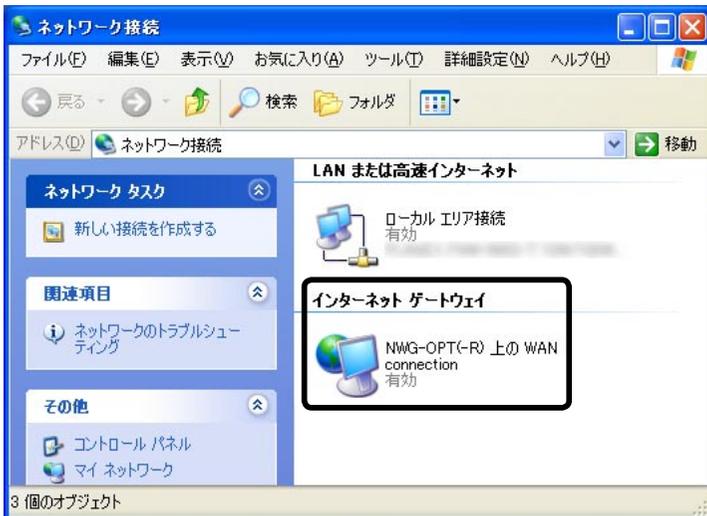
- ① デスクトップ上の [マイネットワーク] アイコンをダブルクリックして下さい。
- ② 「NWG OPT(-R)」アイコンが表示されていることを確認し、「ネットワークタスク」欄から「ネットワーク接続を表示する」をクリックして下さい。



確認 「NWG OPT(-R)」アイコンをダブルクリックすると、「NetGenesis の設定」画面が開きます。

< 次ページへ進んで下さい >

- ③「インターネット ゲートウェイ」として、「NWG-OPT(-R) 上の WAN connection」(PPPoE クライアント機能を使用している場合は「NWG-OPT(-R) 上の PPPoE connection」)と表示されていることを確認して下さい。



確認 「NWG OPT(-R)上の WAN connection」の「WAN connection」の部分は工場出荷値のUPnPニックネームです。NetGenesis の設定により任意に変更することができます。変更方法については次ページを参照して下さい。

● Windows Messenger のバージョン確認

ご利用のパソコンに Windows Messenger 5.0 以降がインストールされているか確認して下さい。

Windows Messenger のバージョンは、Windows Messenger のメニューから [ヘルプ] → [Windows Messenger のバージョン情報] で確認することができます。



ご利用の Windows Messenger のバージョンが古い場合は、バージョンアップを行って下さい。

● Windows Messenger のオーディオに関するアップデート

Windows Update を実行し、更新の一覧に「Windows Messenger のオーディオに関するアップデート」が表示されるか確認して下さい。

表示されている場合は、アップデートを適用して下さい。(表示されていない場合は、アップデート適用済みです。)

● UPnP ニックネームの設定

インターネットゲートウェイとして表示される「NWG-OPT(-R) 上の WAN connection」の「WAN connection」の部分は任意に変更することができます。

変更する場合は、以下の手順で UPnP ニックネームの設定を行って下さい。

- ①「NetGenesis の設定」画面へログオンして下さい。
※「4-1. 設定画面へのログオン」(25 ページ)を参照して下さい。
- ②メニューから「動作モード設定」の文字をクリックして下さい。
- ③「動作モード設定」画面の中の「選択した動作モードの詳細設定へ」ボタンをクリックして下さい。
- ④各動作モードの詳細設定画面の中に「UPnP ニックネームの設定」欄があります。

・DHCP クライアント設定、IP アドレス固定設定の場合、工場出荷値は「WAN connection」

UPnPニックネームの設定	
UPnPニックネーム	WAN connection
※ ここで設定するニックネームが「PC側に表示されるインターネットゲートウェイ上の接続名称」となります。	

・PPPoE クライアント設定の場合、工場出荷値は「PPPoE connection」

UPnPニックネームの設定	
UPnPニックネーム	PPPoE connection
※ ここで設定するニックネームが「PC側に表示されるインターネットゲートウェイ上の接続名称」となります。	

ニックネームを変更する場合は、「UPnPニックネーム」欄に任意のニックネームを入力して下さい。

確認

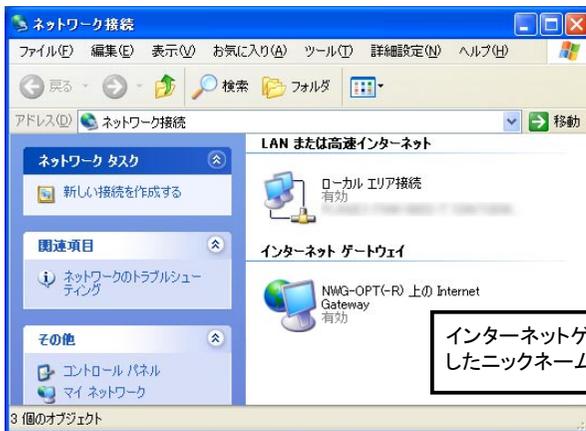
設定できるニックネームは、半角英数字 31 文字までです。

変更が完了しましたら、「設定」ボタンをクリックして下さい。

- ⑤設定が完了しましたら、「設定の更新」を行って下さい。
設定の更新方法については「4-3. 設定の更新」(34 ページ)を参照下さい。
- ⑥UPnP ニックネームが変更されます。

UPnPニックネームの設定	
UPnPニックネーム	Internet Gateway
※ ここで設定するニックネームが「PC側に表示されるインターネットゲートウェイ上の接続名称」となります。	

↓ UPnP ニックネームを変更すると ...



5-5 困ったときは(Q&A)

本書で解説している設定方法を行う上で、「設定できない」、「つながらない」等トラブルが発生した場合の対処法や確認事項です。サポートセンターへお問い合わせになる前に、一度お読み下さい。

- Q. 設定画面へログオンできない。…………… 49
- Q. 設定したパスワードの文字数が増えて(減って)いる。…………… 49
- Q. NetGenesis の設定画面を起動すると、既存の設定内容が違っている。…………… 49
- Q. インターネットに接続できない。
(「フレッツ(PPPoE)簡単設定」を行った場合)…………… 50
- Q. インターネットに接続できない。
(WANポートの設定でDHCPクライアント機能を使用している場合)…………… 51
- Q. インターネットに接続できない。
(WANポートの設定でIPアドレスを指定している場合)…………… 51
- Q. WindowsでWWWブラウザや電子メールソフトを起動すると
「ダイヤルアップネットワーク」(ダイヤルアップ接続)の画面が表示される。…………… 51
- Q. 2台目以降のパソコンではどのような設定をしたらよいか?…………… 51
- Q. インターネットに接続できるが、速度が遅い。…………… 52
- Q. PPPoEクライアント機能使用時に、一部ホームページが表示できない。…………… 52
- Q. PPPoEクライアント機能使用時に、回線終端装置もしくはNetGenesisの電源を落としたところ、
電源を再投入してもインターネットへ接続できなくなった。…………… 52
- Q. ネットワークゲームが動作しない。…………… 52
- Q. NTT社のVoIPアダプタ(テレフォニーアダプタ)を使用するために必要な設定は?…………… 52
- Q. インターネットホームページのサウンドやビデオが正しく再生されない。…………… 52
- Q. ファームウェアのバージョンを知りたい。…………… 52
- Q. NetGenesisのMACアドレスを知りたい…………… 52
- Q. 全ての設定を工場出荷値に戻したい。…………… 53

Q. 設定画面へログオンできない。

- NetGenesis の電源は ON になっていますか？
- パソコンの電源を入れる前に、NetGenesis の電源を入れましたか？
NetGenesis の電源を入れてから、パソコンを再起動して下さい。
- NetGenesis とパソコンがツイストペアケーブルで正しく接続されていますか？
NetGenesis 前面の L1 ～ L4 ランプが点灯しているか確認して下さい。
- NetGenesis から HUB を経由してパソコンを接続している場合、NetGenesis と HUB が正しく接続されていますか？
NetGenesis 前面の L1 ～ L4 ランプが点灯しているか確認して下さい。
- パソコンにイーサネットボードが正しくセットアップされていますか？
イーサネットボードのマニュアル等を参照して下さい。
- パソコンの TCP/IP プロトコルは正しく設定されていますか？
「3. パソコンの設定」(13 ページ)を参照して下さい。
- WWW ブラウザの設定を確認して下さい。
「3-6-1. WWW ブラウザの設定」(21 ページ)を参照して下さい。
- パソコンに PPPoE ソフトウェア (フレッツ接続ツール等) がインストールされていませんか？
PPPoE ソフトウェアのマニュアルやヘルプ等を参照して PPPoE ソフトウェアをアンインストールして下さい。
- NetGenesis の IP アドレスを変更していませんか？
NetGenesis をリセットして、再度試して下さい。
リセット方法については「Q. 全ての設定を工場出荷値に戻したい」(53 ページ)を参照して下さい。
- セキュリティソフトウェアを起動していませんか？
例) シマンテック社「ノートン・インターネットセキュリティ」シリーズ
トレンドマイクロ社「ウィルスバスター」シリーズ 等々
セキュリティソフトウェアのファイアウォール機能が、パソコンと NetGenesis の通信を遮断してしまう場合があります。
NetGenesis の設定を行う際は、セキュリティソフトウェアのファイアウォール機能を停止して下さい。
ファイアウォール機能を停止してもユーザー認証画面が表示されない場合は、セキュリティソフトウェアを終了して下さい。
- AirMac ベースステーションを使用している場合は、AirMac ベースステーションのマニュアル等を参照して DHCP サーバー (および NAT) を OFF にし、ブリッジモードで使用して下さい。
- Windows で Internet Explorer を使用している場合は、以下の手順で設定を初期化して下さい。
 - ① Internet Explorer の [ツール] メニューから [インターネットオプション] をクリックして下さい。
 - ② [セキュリティ] タブをクリックして下さい。
 - ③ [インターネット] をクリックし、「このゾーンのセキュリティのレベル」欄の [既定値に戻す] ボタンをクリックして下さい。
 - ④ [詳細設定] タブをクリックして下さい。
 - ⑤ [既定値に戻す] ボタンをクリックして下さい。
 - ⑥ [適用] ボタンをクリックし、[OK] ボタンをクリックして下さい。

Q. 設定したパスワードの文字数が増えて (減って) いる。

設定画面を閉じて、再度開くとパスワードの文字数 (● や * の数) が実際に入力した数より増えて (減って) いることがありますが、特に問題はありません。
設定画面に表示される「パスワード」及び「パスワード再入力」欄は、実際に入力したパスワードの文字数に関係なく、必ず決まった文字数で表示されます。
表示されるパスワードの文字数は、使用している WWW ブラウザやそのバージョンによって異なります。

Q. 「NetGenesis の設定」画面を起動すると、既存の設定内容が違っている。

NetGenesis の設定を変更した後、設定の更新を行わずに WWW ブラウザを終了してしまうと、「一時保存領域」の設定情報と、「フラッシュ ROM」の設定情報が異なる状態が発生してしまいます。
(「NetGenesis の設定」画面は起動時に、「一時保存領域」に保存された設定情報を読み込みます。)
もし、このような状態になってしまった場合は、NetGenesis の設定画面のメニューから「NetGenesis の再起動」をクリックし、NetGenesis を再起動して一時保存領域の内容を消去して下さい。

・一時保存領域

→ 「NetGenesis の設定」画面で、[設定] ボタンをクリックした場合や、[フレッツ (PPPoE) 簡単設定] の警告画面で [はい] ボタンをクリックした場合に設定内容が一時的に保存される領域です。
NetGenesis の電源を OFF/ON すると消去されます。

・フラッシュ ROM

→ NetGenesis が実際に動作する設定が保存されている領域です。
「設定の更新」画面の [更新] ボタンをクリックすることにより、「一時保存領域」の設定内容を「フラッシュ ROM」に書き込みます。
NetGenesis の電源を OFF/ON しても消去されません。

**Q. インターネットに接続できない。
(「フレッツ(PPPoE)簡単設定」を行った場合)**

「5-2. SYSLOG機能の使用方法」(37ページ)を参照して、SYSLOGを表示してISPとの接続が完了しているか確認して下さい。

- SYSLOGの最後の行に「Connect successfully」と表示される場合

```
S03:PPP: CHAP UP.  
S03:PPP: IPCP UP. My IP=xxx.xxx.xxx.xxx , Peer IP=yyy.yyy.yyy.yyy  
S03:PPP: PriDNS=111.111.111.111, SecDNS=222.222.222.222  
S03:POE: Session stage opened.  
SYS:DNS: Primary name server address changed. (111.111.111.111)  
SYS:DNS: Secondary name server address changed. (222.222.222.222)  
SYS:DNS: Third name server address changed. (0.0.0.0)  
SYS:DNS: Fourth name server address changed. (0.0.0.0)  
S03: : Connect successfully.(--:--:--)
```

ISPとの接続は完了しています。
パソコンのTCP/IP設定及びソフトウェアの設定が正しくされているか確認して下さい。
→「3. パソコンの設定」(13ページ)を参照して下さい。

- SYSLOGが「Discovery stage start.」で止まる場合

```
NWG V4.xxx Syslog start.  
SYS:DNS: Primary name server address established. (xxx.xxx.xxx.xxx)  
SYS:DNS: Secondary name server address established. (yyy.yyy.yyy.yyy)  
S03:POE: Open start.  
S03:POE: Discovery stage start.
```

- ・回線終端装置とNetGenesis(WANポート)の接続を確認して下さい。
→「2-4. 各機器との接続」(7ページ)を参照して下さい。
- ・回線終端装置、またはNetGenesisの電源を落とした場合、PPPoEの切断処理が正しく行われなため、一定時間再接続できない場合があります。
→再接続が可能になるまで、以下の時間お待ち下さい。
 - ・フレッツADSLで、NTT東日本の場合は5分以上
 - ・フレッツADSLで、NTT西日本の場合は30分以上
 - ・Bフレッツの場合は5分以上※回線の再接続に関する動作や時間の詳細は、回線事業者にお問い合わせ下さい。
- ・回線側で障害が発生していませんか？
→回線終端装置とパソコンを直接接続して(NetGenesisを介さない状態にして)インターネットへ接続できるか確認して下さい。(パソコンにPPPoEソフトウェア(フレッツ接続ツール等)をインストールする必要があります。) 接続できない場合は、回線事業者またはISPへお問い合わせ下さい。

- SYSLOGに「CHAP DOWN.」または「PAP DOWN」と表示される場合

```
S03:PPP: Open start.  
S03:PPP: LCP UP.  
S03:PPP: CHAP DOWN.  
S03:PPP: LCP DOWN.  
S03:POE: Session stage closed.  
S03:POE: Closed(Closed session stage).  
SYS:DNS: Primary name server address changed. (111.111.111.111)  
SYS:DNS: Secondary name server address changed. (222.222.222.222)  
SYS:DNS: Third name server address changed. (0.0.0.0)  
SYS:DNS: Fourth name server address changed. (0.0.0.0)  
S03: : Disconnect successfully, duration 00:00:00.(--:--:--)
```

SYSLOGに「CHAP DOWN.」または「PAP DOWN」と表示された場合、ユーザー名やパスワードに誤りがあります。ユーザー名、パスワードを確認して下さい。

◆ユーザー ID、パスワードを確認、修正する場合

ユーザー ID、パスワードを確認(修正)する場合は、「PPPoEクライアント設定」画面を開いて設定を行って下さい。(「フレッツ(PPPoE)簡単設定」を行うと既存の設定は初期化されてしまいます。)

【PPPoEクライアント設定画面を開く手順】

- ①設定画面へログイン→②[動作モード設定]をクリック→③PPPoEクライアント、[IPアドレス自動取得]を選択
- ④[選択した動作モードの詳細設定へ]ボタンをクリック

Q. インターネットに接続できない。

(WANポートの設定でDHCPクライアント機能を使用している場合)

「5-3. ISPから自動取得したIPアドレスの確認方法」(39ページ)を参照して、IPアドレスが正しく取得できているか確認して下さい。

- IPアドレスが正しく取得できている場合
ソフトウェアの設定が正しくされているか確認して下さい。
→「3-6. ソフトウェアの設定」(21ページ)を参照して下さい。
- IPアドレスが正しく取得できていない場合
 - 回線終端装置とNetGenesis (WANポート)の接続を確認して下さい。
→「2-3. 各機器との接続」(7ページ)を参照して下さい。
 - NetGenesisにパソコンを接続する前に、パソコンのIPアドレスの解放を行いましたか？
→「2-1. 設置前に確認すること」(3ページ)を参照して下さい。
 - ケーブルモデムを使用している場合、NetGenesisを接続する前にMACアドレス(物理アドレス)の消去を行いましたか？
→「MACアドレス記憶型のケーブルモデムについて」(4ページ)を参照して下さい。
 - ホスト名(コンピューター名)の入力が必要なISPへ接続する場合、正しく入力されていますか？
→「4-2-2. DHCPクライアント機能を使う(CATV、Yahoo!BB等)」(29ページ)を参照して下さい。
 - ISPに接続するネットワーク機器のMACアドレス(物理アドレス)の登録が必要な場合 NetGenesisのWANポートのMACアドレスをISPに登録して下さい。
→「5-1. ファームウェアバージョン情報とMACアドレスの確認方法」(36ページ)を参照して下さい。
 - 回線側で障害が発生していませんか？
→ 回線終端装置とパソコンを直接接続して(NetGenesisを介さない状態にして)インターネットへ接続できるか確認して下さい。
接続できない場合は、回線事業者またはISPへお問い合わせ下さい。

Q. インターネットに接続できない。

(WANポートの設定でIPアドレスを指定している場合)

- ソフトウェアの設定が正しくされているか確認して下さい。
→「3-6. ソフトウェアの設定」(21ページ)を参照して下さい。
- NetGenesisのWANポートに、ネットワークアドレスまたはIPアドレスが正しく設定されているか確認して下さい。
→「4-2-3. IPアドレスを固定する(CATV、IPアドレス指定のISP等)」(31ページ)を参照して下さい。
- 回線終端装置とNetGenesis (WANポート)の接続を確認して下さい。
→「2-3. 各機器との接続」(7ページ)を参照して下さい。
- ケーブルモデムを使用している場合、NetGenesisと接続する前にMACアドレス(物理アドレス)の消去を行いましたか？
→「MACアドレス記憶型のケーブルモデムについて」(4ページ)を参照して下さい。
- 回線側で障害が発生していませんか？
→ 回線終端装置とパソコンを直接接続して(NetGenesisを介さない状態にして)インターネットへ接続できるか確認して下さい。
接続できない場合は、回線事業者またはISPへお問い合わせ下さい。

Q. WindowsでWWWブラウザや電子メールソフトを起動すると「ダイヤルアップネットワーク」

(ダイヤルアップ接続)の画面が表示される。

ソフトウェアの設定が「LANを使用してインターネットに接続する」設定になっているか確認して下さい。

→「3-6. ソフトウェアの設定」(21ページ)を参照して下さい。

Q. 2台目以降のパソコンではどのような設定をしたらよいか？

NetGenesisの設定(WANポートの設定)は、一度行えばNetGenesis内部のフラッシュROMに設定が書き込まれますので、2台目以降のパソコンからNetGenesisの設定を行う必要はありません。

2台目以降のパソコンでは、「3. パソコンの設定」(13ページ)の設定のみ行えば、インターネットへ接続することができます。

Q. インターネットに接続できるが、通信速度が遅い。

以下の項目を確認して下さい。

- **回線終端装置の速度(接続)設定を変更していませんか？**
回線終端装置(ONU、メディアコンバーター等)の中には、デフォルトで速度設定を変更できる機種があります。速度設定をAutoモード(オートネゴシエーション有効)以外に設定すると、通信速度が低下することがあります。回線終端装置の速度設定は必ずAutoモードにして下さい。設定変更方法については回線終端装置のマニュアルを参照して下さい。
- **パソコンに搭載されているイーサネットボードの速度(接続)設定を変更していませんか？**
イーサネットボードの設定で速度設定を変更している場合、通信速度が低下することがあります。イーサネットボードの速度設定は、Autoモード(オートネゴシエーション有効)に設定して下さい。設定変更方法についてはイーサネットボードのマニュアルを参照して下さい。
- **セキュリティソフトウェアが稼働していませんか？**
例)シマンテック社「ノートン・インターネットセキュリティ」シリーズ
トレンドマイクロ社「ウィルスバスター」シリーズ 等々
インターネット通信を常時監視するソフトウェアが起動・常駐している場合、通信速度が低下することがあります。それらのソフトウェアを使用している場合は、ソフトウェアのマニュアル等を参照して停止(終了)して下さい。

Q. PPPoE クライアント機能使用時に、一部ホームページが表示できない。

- **NetGenesis の MTU*値を変更していませんか？**
※ MTU= Maximum Transmission Unit(1回の転送で送信できるデータの最大値)
MTU 値を変更した場合は、工場出荷値(1454)へ戻して下さい。
設定方法については、弊社ダウンロード&サポート情報ページからユーザーズマニュアルをダウンロードし、参照して下さい。(MTU 値の設定方法は本書では解説していません。)
- **「MSS CLAMP を使用する」のチェックを外していませんか？**
PPPoE クライアントオプション設定の「MSS CLAMP を使用する」にチェックを入れて下さい。(工場出荷値、チェック有)
設定方法については、弊社ダウンロード&サポート情報ページからユーザーズマニュアルをダウンロードし、参照して下さい。(MSS CLAMP については本書では解説していません。)

Q. PPPoE クライアント機能使用時に回線終端装置もしくは NetGenesis の電源を落としたところ、電源を再投入してもインターネットへ接続できなくなった。

回線終端装置、または NetGenesis の電源を落とした場合、PPPoE の切断処理が正しく行われなため、一定時間再接続できない場合があります。

再接続が可能になるまで、以下の時間お待ち下さい。

- ・フレッツADSLで、NTT 東日本の場合は5分以上
- ・フレッツADSLで、NTT 西日本の場合は30分以上
- ・Bフレッツの場合は5分以上

※回線の再接続に関する動作や時間の詳細は、回線事業者にお問い合わせ下さい。

Q. ネットワークゲームが動作しない。

Q. インターネットホームページのサウンドやビデオが正しく再生されない。

ネットワークゲームやインターネットのホームページのサウンドやビデオの再生を行う場合、DMZホスト機能の設定、もしくはIPマスカレードテーブルの設定が必要になる場合があります。

設定方法については弊社サポートページよりユーザーズマニュアルをダウンロードして参照して下さい。

※IPマスカレードテーブル及びDMZホスト機能については本書では解説していません。

Q. NTT 社の VoIP アダプタ(テレフォニーアダプタ)を使用するために必要な設定は？

NetGenesis の LAN 内で NTT 社の VoIP アダプタ(テレフォニーアダプタ)を使用するためには、NetGenesis の UPnP 機能を有効にする必要があります。

UPnP 機能の有効/無効の切り替え方法については「5-4-1. NetGenesis の設定」(40ページ)を参照して下さい。

Q. ファームウェアのバージョンを知りたい。

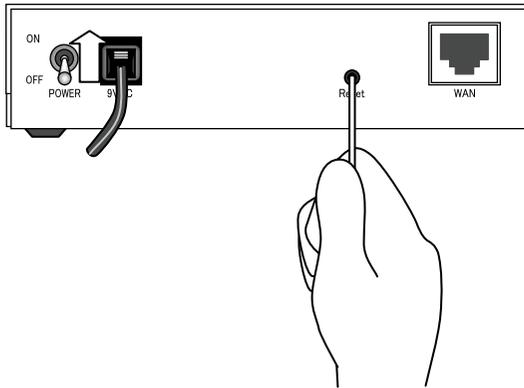
Q. NetGenesis の MAC アドレスを知りたい。

NetGenesis の設定画面で確認することができます。

詳しくは「5-1. ファームウェアバージョン情報と MAC アドレスの確認方法」(36ページ)を参照して下さい。

Q. 全ての設定を工場出荷値に戻したい。

「Reset」ボタンを細い棒等で押したまま電源を投入し、そのまま10秒以上押し続けるとすべての設定が工場出荷値に戻ります。(下図参照)



「RESET」ボタンを細い棒等で押したまま電源を投入して下さい。
「RESET」ボタンは、電源投入後、そのまま10秒以上押し続けて下さい。

5-7. ユーザーサポートについて

●ユーザーサポートについて

NetGenesisに関する操作方法や技術的なお問い合わせは以下で受け付けています。

- ◆サポートセンター直通電話番号：03-3458-9031
- ◆営業時間：土・日、祝日、年末年始を除く 10:00～12:00、13:00～17:00
- ◆サポートセンター直通FAX番号：03-3458-9030

最新情報、NetGenesisのファームウェアの提供、ユーザー登録等はインターネットホームページで行っています。

URL：<http://www.MRL.co.jp>

●お問い合わせ頂く際のお願い

お問い合わせ頂く際は以下の各項目について必ずご連絡下さい。

- ◆お名前
- ◆ご住所
- ◆NetGenesisの製造番号
- ◆パソコンの機種名
- ◆パソコンのイーサネットボード名
- ◆契約しているISP名称
- ◆具体的な症状(エラーメッセージ等も含め、できる限り詳細に。)
- ◆電話番号・FAX番号
- ◆NetGenesisの機種名(型番)
- ◆NetGenesisのファームウェアバージョン
- ◆パソコンのOSおよびバージョン
- ◆使用回線
- ◆ケーブルモデム/xDSLモデム/回線終端装置の機種名

※次ページの「NetGenesisお問い合わせシート」をコピーしてご利用下さい。

●ユーザーズメーリングリストのご案内

弊社ではユーザー様同士の情報交換の場としてNetGenesis ユーザーズメーリングリストを開設しております。(メーリングリストによる、ユーザーサポートは行っていません。)

詳しくは URL：<http://www.MRL.co.jp/ml/nwg-ml.htm> を参照して下さい。

●NetGenesisの修理について

NetGenesisが故障してしまった場合、以下の項目をご確認のうえ、弊社修理センターへ送付して下さい。(修理品送付に伴う送料は、送り主負担とさせていただきます。)

- ◆修理品には必ず、使用環境、故障状況等を詳しくお書き添え下さい。
- ◆修理期間中の代替機の貸出等はありませんのでご了承下さい。
- ◆保証期間中は無償で修理を行います。

ただし、以下の場合には保証期間中であっても有償修理となりますのでご了承下さい。

- ・保証書が同梱されていない場合。
- ・保証書の所定事項が未記入の場合。
- ・誤った操作等により発生した故障や破損の場合。
- ・落雷、火災等の事故により発生した故障や破損の場合。

※本製品を分解または改造を行った場合、一切のサポート及び修理をお断りさせていただきます。

修理品の送付先は以下の通りです。

株式会社マイクロ総合研究所 修理センター

〒140-0004 東京都品川区南品川2-2-5 清水品川ビル1F TEL:03-3458-9021

NetGenesis OPT お問い合わせシート(インターネット接続)

お名前 :
(会社名・団体名とご担当者様氏名)

電話番号 :

FAX 番号 :

機種名 : NWG OPT / NWG OPTR (該当機種に○を付けて下さい。)

◆契約しているISP名称/機器構成	
契約しているISP名称	
使用回線	
回線終端装置の機器名称	
パソコンの名称や型番/台数	
OSとそのバージョン	
イーサネットボードの名称や型番	
その他同一ネットワーク上の機器	

◆ NetGenesis のファームウェアバージョン 「5-1. ファームウェアバージョン情報とMACアドレスの確認方法」(36ページ)を参照して下さい。	
ファームウェアバージョン	Ver

◆ NetGenesis の設定	
<p>いずれか該当するものに チェックを入れて下さい。</p>	<p><input type="checkbox"/>工場出荷値(何も設定しなかった。) 「症状」、「接続図」をご記入下さい。</p> <p><input type="checkbox"/>フレッツ (PPPoE) 簡単設定を行った。 「フレッツ (PPPoE) 簡単設定」、「UPnP の設定」、「その他の設定」 「症状」、「接続図」をご記入下さい。</p> <p><input type="checkbox"/> WAN ポートの設定を行った。 「WAN ポートの設定」、「UPnP の設定」、「その他の設定」、「症状」 「接続図」をご記入下さい。</p>

◆フレッツ(PPPoE)簡単設定	
ユーザー名(ユーザーID)	
プライマリDNS	_____ □未入力
セカンダリDNS	_____ □未入力

◆ WAN ポートの設定(「4-2. WANポートの設定」(27ページ)を参照して下さい。)	
WANポートの動作モード	<input type="checkbox"/> DHCPクライアント <input type="checkbox"/> PPPoEクライアント(IPアドレス自動取得) <input type="checkbox"/> IPアドレス固定(1 ~ 16個)
ホスト名(DHCPクライアントのみ)	ホスト名:(_____)
変換IPアドレス情報 (IPアドレス固定(1 ~ 16個のみ))	変換IPアドレス個数:1・2・4・8・16
	LAN側変換後の先頭IPアドレス:_____
「WAN側から取得したDNS情報を優先する」	チェック 有 ・ 無
プライマリDNS	_____ □未入力
セカンダリDNS	_____ □未入力
サードDNS	_____ □未入力
フォースDNS	_____ □未入力

◆ UPnP の設定(「5-4-1.NetGenesis の設定」(40ページ)を参照して下さい。)	
UPnP 機能を使用する	チェック 有 ・ 無

◆その他の設定(工場出荷値から変更/追加した設定がある場合にご記入下さい。)

◆症状(できるだけ具体的にご記入下さい。)

◆接続図(接続図をご記入下さい。)

株式会社マイクロ総合研究所

〒140-0004 東京都品川区南品川 2-2-5 清水品川ビル